

消 防 年 報

平 成 18 年 版



第2回リアス四季フォトコンテスト
最優秀賞「さすが！サメが空飛ぶ気仙沼」
斎藤 耀 君（気仙沼市・面瀬小学校5年生）

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部
（平成19年刊行）

は し が き

この年報は、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合の消防事情を広く紹介するとともに今後の消防行政の資料として活用するために当組合の現勢並びに平成 18 年中の警防、予防、救急業務の実態を収録したものです。

本書により消防の実態をご理解頂ければ幸いです。

平成 19 年 9 月

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

目 次

沿 革	1
圏域管内図	11
位置及び管内情勢	12
組合組織図	13
庁舎・待機宿舎の位置	14
総 務	
予 算	
平成 19 年度当初歳入歳出予算	17・18
平成 19 年度（当初）組合消防費にかかる性質別歳出の財源内訳	19
平成 19 年度（当初）構成市町の一般会計と消防予算	19
平成 18 年度（決算）構成市町分担金負担割合	19
決 算	
平成 18 年度歳入歳出決算	20・21
職 員	
職員配置状況	22
職員階級別勤続年数	23
職員階級別年齢	24
職員年齢構成図	25
学校等教育状況	26
職員特殊技能資格取得状況	27
予 防	
防 火 対 象 物	
第 17 条対象物数	31
用途別消防用設備等の設置状況	32
用途別予防査察状況	33
用途別中高層建築物の現況	34
防火管理者を要する対象物	35
建築同意事務	36
危 険 物	
危険物施設	37
危険物施設の予防査察実施状況	38
危険物事務処理件数	39
民間防火組織	
危険物安全協会結成状況	40

防火管理者協会結成状況	40
幼年消防クラブ結成状況	41
少年消防クラブ結成状況	41
婦人防火クラブ結成状況	41
警 防	
消 防 車 両	
消防車両等の配置状況	45
消防車両等の配置現況	46
消防力の基準と現有	
消防本部・署所の人員	47
署所及び動力消防ポンプの基準と現有	48
消 防 水 利	
管内水利状況	50
通 信	
通信施設の現況	53
消防テレホンサービス利用状況	53
119番受信件数	54
通 信 系 統 図	56
気 象	
気 象 統 計	57
気象情報等受信統計	58
管内消防団	
組 織 機 構 図	61
組 織	63
階級別消防団員数	63
年齢別消防団員数	64
在職年数別消防団員数	64
消防団員報酬	64
消防施設の現況	64
火災・救急統計	
火 災 統 計	
火災件数及び損害額の推移	67
火災発生状況（市町別）	68
〃（覚知別）	69
〃（月 別）	70
月別火災発生状況	72
曜日別火災発生状況	73

時間別火災発生状況	73
原因別火災発生状況・損害額	74
建物用途別火災発生状況（火元）	75
救 急 統 計	
救急活動の推移	76
月別事故別活動状況	77
市町別事故別活動状況	78
市町別出場件数	79
救急隊員が行った応急処置件数	80
事故種別出場件数	80
月別出場件数	81
時間別出場件数	81
曜日別搬送人員	82
傷病程度別搬送人員	83
年齢別搬送人員	84
医療機関別搬送人員	85
不搬送等状況・診療科目別搬送人員・転送回数別搬送人員・覚知別出場件数	86
普通救命講習受講者状況	86
防災センター	
防災センターの概要	89
月・地域別利用状況	90
月・曜日別利用状況	91
利用者別状況	92
主 な 備 蓄 品	92

沿革

昭和 46 年 7 月 21 日	宮城県知事から広域市町村圏の指定を受ける。
8 月 2 日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合設立。
昭和 47 年 4 月 1 日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部発足。
〃	初代消防長に加藤留七氏就任。
〃	広域消防職員として前気仙沼市消防本部職員 55 人を任用、18 人新規採用。(消防職員定数 155 人)
4 月 10 日	宮城県より危険物規制事務を引き継ぐ。
4 月 15 日	消防常備化市町村の指定(郡内 5 町)を受ける。
8 月 4 日	消防職員 16 人を採用。
12 月 1 日	広域消防の業務開始。(1 本部、2 消防署、1 分署、4 出張所)
12 月 4 日	消防職員 15 人を採用。
12 月 20 日	志津川消防署庁舎落成。
12 月 25 日	志津川消防署津山出張所庁舎落成。
昭和 48 年 1 月 7 日	気仙沼消防署本吉分署庁舎落成。
1 月 18 日	志津川消防署歌津出張所庁舎落成。
1 月 24 日	広域消防間の相互応援協定締結。(石巻、塩釜、登米、大崎の各広域消防本部)
1 月 25 日	気仙沼消防署唐桑出張所庁舎落成。
1 月 30 日	管内各消防無線固定局開局。
1 月 31 日	広域消防開庁祝賀会。
3 月 15 日	気仙沼消防署に救急自動車 1 台配置。
3 月 23 日	広域消防間の相互応援協定締結。(岩手県両磐地区、陸前高田市の各消防本部)
3 月 25 日	(財)日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4 月 2 日	消防職員 21 人を採用。
4 月 18 日	消防本部消防次長(故)熊谷孝喜氏 正七位勲六等単光旭日章に叙される。
4 月 24 日	気仙沼本吉地区危険物安全協会結成。
6 月 20 日	救急業務市町村の指定(郡内 5 町)を受ける。
7 月 19 日	干害対策本部を設置。
8 月 2 日	消防職員 14 人を採用。
8 月 23 日	志津川消防署に消防ポンプ自動車 1 台を配置。
10 月 1 日	気仙沼海上保安署と業務協定締結。
昭和 49 年 3 月 2 日	消防職員(船舶職員) 3 人を採用。
3 月 31 日	気仙沼消防署「望楼」勤務を廃止。(昭和 12 年建設、昭和 60 年撤去)
4 月 4 日	消防職員 10 人を採用。
4 月 16 日	気仙沼消防署臨港出張所落成。
4 月 16 日	消防艇「あさぎり」配置。
7 月 30 日	第 1 回消防職員技術大会実施。(以後毎年実施)
12 月 5 日	志津川町防火管理者協会結成。
昭和 50 年 3 月 14 日	気仙沼市で市民消防学校を開催。

昭和 50 年 6 月 2 日	消防職員 1 人を採用。
6 月 10 日	昭和 50 年度宮城県総合防災訓練を気仙沼市内の脇地区において実施。
7 月 1 日	消防職員 1 人を採用。
9 月 11 日	(財)日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10 月 1 日	第 2 代消防長に村上栄氏就任。
11 月 13 日	「第 8 なか丸」歌津沖で転覆事故。気仙沼港に曳航、人命捜索救助活動を行う。
昭和 51 年 3 月 23 日	志津川町で町民消防学校を開催。
6 月 8 日	消防本部庁舎増築落成。
8 月 20 日	本吉町防火管理者協会結成。
12 月 2 日	気仙沼市大島地区に駐在員 2 人を派遣。
12 月 10 日	本吉町で町民消防学校を開催。
12 月 18 日	唐桑町で町民消防学校を開催。
昭和 52 年 2 月 1 日	消防音楽隊を結成。(隊員 25 人)
3 月 11 日	歌津町で町民消防学校を開催。
3 月 19 日	津山町で町民消防学校を開催。
3 月 30 日	気仙沼信用金庫から救助工作車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4 月 11 日	津山町防火管理者協会結成。
10 月 28 日	気仙沼消防署と志津川消防署に作業車を更新配置。
11 月 2 日	気仙沼消防署に指令車を更新配置。
11 月 12 日	唐桑町防火管理者協会結成。
11 月 19 日	気仙沼市大島地区で市民消防学校を開催。
昭和 53 年 4 月 1 日	消防職員 3 人を採用。
4 月 3 日	消防本部と志津川消防署の消防救急通信指令装置が完成。
4 月 26 日	第 1 回消防職員意見発表東北大会(青森市)において菅野優消防士優秀賞を受賞。
6 月 12 日	宮城県沖地震。
7 月 27 日	第 7 回全国消防救助技術大会(千葉市)において水中検索の部に高崎秀敏消防士出場。
12 月 1 日	広域行政事務組合が理事制に移行。
昭和 54 年 3 月 20 日	本吉町で同時大規模林野火災発生。(12ha・5ha) 管内消防団、登米広域消防本部及び両磐広域消防本部の応援を受ける。
4 月 6 日	気仙沼消防署大島出張所庁舎落成。
4 月 20 日	消防本部指令車を更新配置。
4 月 26 日	昭和 54 年宮城県林野火災防ぎょ訓練を歌津町田東山において実施。
6 月 16 日	唐桑町で少年消防クラブ結成。
12 月 13 日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員互助会発足。
12 月 25 日	(有)気仙沼モータースから人員搬送車の寄贈を受け、消防本部に配置。
12 月 26 日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車を更新配置。
〃	気仙沼消防署に屈折梯子車を配置。
昭和 55 年 5 月 29 日	第 3 回全国消防職員意見発表大会(東京都)において錦部照夫消防士長最優秀賞を受賞。

昭和 55 年 6 月 1 日	志津川町、歌津町及び津山町の消防職員待機宿舎完成。
6 月 10 日	消防本部に査察車を更新配置。
8 月 28 日	(財)日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
9 月 1 日	昭和 55 年度宮城県総合防災訓練を気仙沼市館山地区で実施。
9 月 18 日	気仙沼消防署唐桑出張所、志津川消防署歌津出張所及び津山出張所に防火広報車を配置。
10 月 1 日	第 3 代消防長に畠山誠氏就任。
11 月 21 日	歌津町防火管理者協会設立。
12 月 19 日	気仙沼消防署南出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
12 月 27 日	宮城県知事から空中消火用資機材の保管を委託され、志津川消防署で管理。
昭和 56 年 1 月 10 日	(財)日本船舶振興会から防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
4 月 1 日	消防職員 4 人を採用。
6 月 4 日	歌津町で幼年消防クラブ結成。
8 月 11 日	気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会結成。(1 市 5 町)
11 月 30 日	気仙沼消防署本吉分署に査察車、志津川消防署に指令車を更新配置。
12 月 14 日	(社)日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、志津川消防署津山出張所に配置。
昭和 57 年 2 月 25 日	唐桑町の消防職員待機宿舎完成。
3 月 17 日	気仙沼消防署本吉分署に救急自動車を更新配置。
3 月 19 日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車を配置。
4 月 1 日	第 4 代消防長に川合昭伍氏就任。
〃	消防職員 3 人を採用。
4 月 11 日	気仙沼市魚市場に係留中の「第 11 豊洋号」(ブンヤン号)においてアンモニアガス噴出事故発生。死者 8 人、負傷者 6 人。
6 月 10 日	気仙沼市で幼年消防クラブ結成。
7 月 12 日	津山町で幼年消防クラブ結成。
7 月 30 日	第 25 回宮城県消防操法大会を気仙沼市で開催。
〃	昭和 57 年 4 月 11 日に発生した、「第 11 豊洋号」アンモニア噴出事故で救助活動に従事した職員及び団体の功績に対し、宮城県知事から「顕彰状」が授与された。 団体 気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部 個人 菊田國夫消防司令補、佐藤誠悦消防士、芳賀保宏消防士、森浩一消防士
7 月 30 日	同じく上記事由により職員及び団体に対し(財)日本消防協会から「現場功労章」が授与された。
8 月 24 日	同じく上記事由により職員及び団体に対し(財)宮城県消防協会から「功労章」が授与された。
〃	(財)日本消防協会から緊急用ろ水器が寄贈され、気仙沼消防署と志津川消防署に配置。
9 月 1 日	昭和 57 年 4 月 11 日に発生した、「第 11 豊洋号」アンモニア噴出事故で救助活動に従事した職員及び団体の功績に対し、消防庁長官から「功績章」が授与された。 団体 気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部 個人 菊田國夫消防司令補、佐藤誠悦消防士、芳賀保宏消防士、森浩一消防士
9 月 9 日	「救急の日」制定。
12 月 1 日	気仙沼消防署に照明電源車を配置。

昭和 58 年 1 月 30 日	志津川消防署に救急自動車を更新配置。
3 月 9 日	志津川町で幼年消防クラブ結成。
3 月 30 日	本吉町の消防職員待機宿舎落成。
6 月 2 日	第 6 回全国消防職員意見発表大会(京都府)において芳賀保宏消防士優秀賞を受賞。
8 月 11 日	初代消防長(故)加藤留七氏 従六位勲五等瑞宝章に叙される。
9 月 1 日	昭和 57 年 4 月 11 日に発生した、「第 11 豊洋号」アンモニア噴出事故に係る救助活動の功労により、広域消防本部に対し内閣総理大臣から昭和 58 年度「防災功労章」が授与された。
昭和 59 年 3 月 16 日	宮城県知事から「林野火災特別地域」の指定を受ける。
4 月 1 日	消防職員 3 人を採用。
7 月 10 日	宮城県防災気仙沼消防無線局を開局。
7 月 20 日	本吉町で少年消防クラブ結成。
11 月 8 日	元消防職員 菅野孝一氏 勲六等瑞宝章に叙される。
12 月 4 日	本吉町で幼年消防クラブ結成。
昭和 60 年 2 月 8 日	志津川消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配置。
2 月 15 日	異常気象(厳冬による消防水利確保困難)のため「火災警報」を発令。
3 月 12 日	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車を配置。
4 月 1 日	消防職員 3 人を採用。
6 月 1 日	宮城県防災気仙沼消防無線局にファクシミリ開通。
8 月 1 日	消防衛生管理規程を制定。
8 月 19 日	異常渇水のため消防対策本部を設置。(9 月 2 日まで継続)
8 月 23 日	第 14 回全国消防救助技術大会(広島市)において伊藤大志消防士ロープ登はんの部で入賞。
8 月 26 日	(財)日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10 月 8 日	第 32 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11 月 25 日	産業医(猪苗代勇医師)を嘱託。
11 月 27 日	第 1 回「火災予防キャンペーン」実施。(以後毎年実施)
12 月 18 日	国道 45 号線安波山トンネル開通に伴う関係機関合同総合訓練。(以後隔年実施)
昭和 61 年 1 月 6 日	消防出初式に「梯子乗り」登場。
3 月 8 日	「消防表彰式」を創設。(以後毎年実施)
3 月 10 日	(財)日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
3 月 27 日	志津川消防署歌津出張所、津山出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
4 月 1 日	消防職員 2 人を採用。
8 月 5 日	台風 10 号くずれの低気圧により宮城県全域で大雨洪水による被害多発。
10 月 16 日	気仙沼市で「幼年消防フェア」を開催。
11 月 27 日	気仙沼消防署唐桑出張所、志津川消防署歌津出張所に広報車を更新配置。
”	広域組合消防計画書を策定。
昭和 62 年 3 月 18 日	気仙沼消防署に指令車更新配置。
3 月 26 日	「火災警報」を発令。
5 月 15 日	異常渇水のため消防対策本部を設置。
5 月 28 日	第 10 回全国消防職員意見発表大会(横浜市)において佐藤武敏消防士長入賞。

昭和 62 年 8 月 1 日	広域組合消防安全管理規程を制定。
8 月 12 日	志津川町で第 30 回宮城県消防操法大会を開催。
9 月 1 日	(財)日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10 月 23 日	気仙沼消防署、志津川消防署に作業車を更新配置。
11 月 9 日	「119 番の日」制定。
11 月 17 日	(株)アーバンから防災指揮車の寄贈を受け、消防本部に配置。
12 月 19 日	危険物安全協会創立 30 周年記念式典の開催。
昭和 63 年 4 月 1 日	東京消防庁への研修派遣制度導入。(計 8 人研修)
6 月 4 日	気仙沼市で少年消防クラブ結成。
8 月 19 日	第 17 回全国消防救助技術大会(横浜市)において伊藤大志消防士ロープブリッジ渡過の部で入賞。
10 月 7 日	志津川消防署津山出張所に広報車を更新配置。
平成元年 1 月 29 日	4 週 6 休実施。
2 月 21 日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4 月 1 日	消防職員高齢化対策で職員 2 人を気仙沼市へ研修派遣。
4 月 18 日	平成元年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を気仙沼市太田放牧地において実施。
8 月 8 日	(有)気仙沼モータースへの車両整備技術取得研修派遣制度導入。(8 名研修)
12 月 25 日	唐桑町で幼年消防クラブ結成。
平成 2 年 2 月 21 日	広域組合の休日定める条例を制定。
3 月 29 日	消防訓練塔落成。
3 月 31 日	消防職員高齢化対策で気仙沼市へ研修派遣中の職員 2 人退職。 (4 月 1 日付で気仙沼市へ身分移管)
4 月 1 日	消防職員 3 人を採用。
〃	消防職員高齢化対策で職員 1 人を気仙沼市へ研修派遣。
4 月 26 日	第 13 回全国消防長会東北支部意見発表大会(新潟市)において森淳一消防士長優秀賞を受賞。
5 月 17 日	第 41 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
6 月 3 日	元消防署長(故)佐藤継雄氏 従六位勲五等瑞宝章に叙される。
7 月 6 日	第 15 回宮城県消防救助技術指導会を気仙沼市で開催。
7 月 19 日	元消防職員(故)小山光雄氏 従七位勲六等瑞宝章に叙される。
8 月 24 日	第 19 回全国消防救助技術大会(広島市)において志津川消防署隊ロープブリッジ救出の部で入賞。
9 月 1 日	9. 1 宮城県総合防災訓練を志津川町で開催。
平成 3 年 2 月 25 日	消防本部に人員輸送車配置。
〃	人員輸送車運行管理要綱制定。
3 月 31 日	消防職員高齢化対策で気仙沼市へ研修派遣中の職員 1 人退職。 (4 月 1 日付で気仙沼市へ身分移管)
4 月 1 日	第 5 代消防長に若杉市郎氏就任。
〃	消防職員 2 人を採用。
〃	消防職員高齢化対策で唐桑町・本吉町・津山町へ職員各 1 人研修派遣。
〃	(財)日本消防協会へ 1 人を研修派遣。

平成3年8月28日	第20回全国消防救助技術大会（大阪府）において伊藤大志消防士ロープブリッジ渡過の部で入賞。
9月9日	カメイ㈱から広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
10月1日	消防職員高齢化対策で職員1人を広域組合に研修派遣。
〃	宮城県防災ヘリコプター航空隊に職員1名派遣。
12月9日	気仙沼消防署・本吉分署・志津川消防署・津山出張所に救急応急処置範囲の拡大に伴う9点セットを配置。
平成4年3月21日	岩手県東磐井郡室根村地内の大川にタンクローリー仰転、重油流出により「大川油流出事故対策本部」を設置、消防職・団員及び自衛隊（第22普通科連隊）が災害復旧活動に従事。（4月14日対策本部解散）
3月31日	志津川消防署、気仙沼消防署本吉分署に指令車と査察車を更新配置。
〃	消防職員高齢化対策で、広域組合・唐桑町・本吉町・津山町へ研修派遣の職員4人退職。（4月1日付で研修派遣先へ身分移管）
4月1日	消防職員4人を採用。
〃	消防職員高齢化対策で職員1人志津川町へ研修派遣。
〃	宮城県広域航空消防応援協定締結。
5月1日	「大川油流出事故」災害復旧活動の功績により気仙沼市長から広域消防本部に「感謝状」が授与された。
8月28日	第21回全国消防救助技術大会（千葉市）において伊藤大志消防士ロープブリッジ渡過の部で入賞。
9月4日	財日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
10月21日	第8回全国婦人消防操法大会（横浜市）において津山町婦人消防隊が準優勝。
10月30日	「広域組合設立・広域消防発足20周年記念式典」を開催。浅野大三郎消防庁長官が記念講演。
平成5年2月1日	4週8休実施。
2月8日	気仙沼三菱自動車販売㈱より連絡広報車の寄贈を受け、気仙沼消防署大島出張所に配置。
3月31日	消防職員高齢化対策で志津川町へ研修派遣の職員1人退職。 （4月1日付で志津川町へ身分移管）
4月1日	消防職員1人を採用。
〃	消防職員定数を187人に改正。
4月18日	津山町で大規模林野火災発生（10ha焼失）管内消防団の応援を受ける。
10月26日	消防本部・気仙沼消防署・広域防災センター新庁舎落成。
平成6年1月31日	気仙沼消防署南出張所廃止。
2月1日	消防本部・気仙沼消防署新庁舎で業務開始。
〃	消防緊急通信指令施設開通式（119番統合）。
〃	気仙沼・本吉広域防災センター条例施行。
〃	気仙沼・本吉広域防災センター職員辞令交付（全員併任発令）。
〃	気仙沼消防署南町出張所設置（臨港出張所併合）職員8人配置。
2月28日	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）完成。
3月23日	気仙沼消防署に高規格救急自動車配置。

平成6年3月29日	消防本部・気仙沼消防署・広域防災センター新庁舎落成式。
4月1日	消防職員7人を採用。
〃	「気仙沼・本吉広域防災センター」オープン。
5月25日	救急救命士国家試験（1人）合格。
8月12日	異常湧水による消防対策本部設置（8月22日まで）。
9月30日	（財）日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月27日	第50回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月13日	広域防災センター入館者10,000人達成。
平成7年3月20日	気仙沼消防署南町出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
4月1日	消防本部に通信指令室を設け通信情報係・通信管理係を置き、消防署に救急係・救助係を配置し、分署に警防係・予防係を配置。
4月1日	消防職員8人採用。
4月25日	救急救命士国家試験（2人）合格。
5月9日	旅客船「くろさき」岸壁衝突事故。負傷者149人。
7月14日	広域防災センター入館者20,000人達成。
8月5日	警防課長（故）伊藤哲夫氏 正七位勲六等単光旭日章に叙される。
8月22日	当消防本部が緊急援助隊救急部隊に登録される。
8月25日	第24回全国消防救助技術大会（北九州市）において、志津川消防署引揚救助の部で入賞。
11月2日	救急救命士国家試験（1人）合格。
11月10日	第2代消防長（故）村上栄氏 従六位勲六等単光旭日章に叙される。
12月1日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、歌津出張所に配置。
12月15日	気仙沼消防署大島出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
平成8年4月1日	第6代消防長に熊谷昭一氏就任。
〃	消防職員7人採用。
4月9日	元消防職員（故）宮井義郎氏 正七位勲六等瑞宝章に叙される。
4月25日	救急救命士国家試験（1人）合格。
5月26日	広域防災センター入館者30,000人達成。
10月11日	消防職員委員会規則公布。
11月13日	救急救命士国家試験（1人）合格。
12月11日	第1回消防職員委員会開催。（以後毎年開催）
12月19日	第1回緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練に参加。（於 仙台市 20日まで）
平成9年1月8日	志津川消防署に災害対応特殊救急自動車配置。
2月3日	気仙沼消防署待機宿舎移転落成。
2月16日	広域防災センター入館者40,000人達成。
2月28日	気仙沼消防署臨港出張所廃止。
4月1日	第7代消防長に藤原博氏就任。
〃	消防職員6人採用。
〃	給与振込開始。
4月24日	救急救命士国家試験（1人）合格。

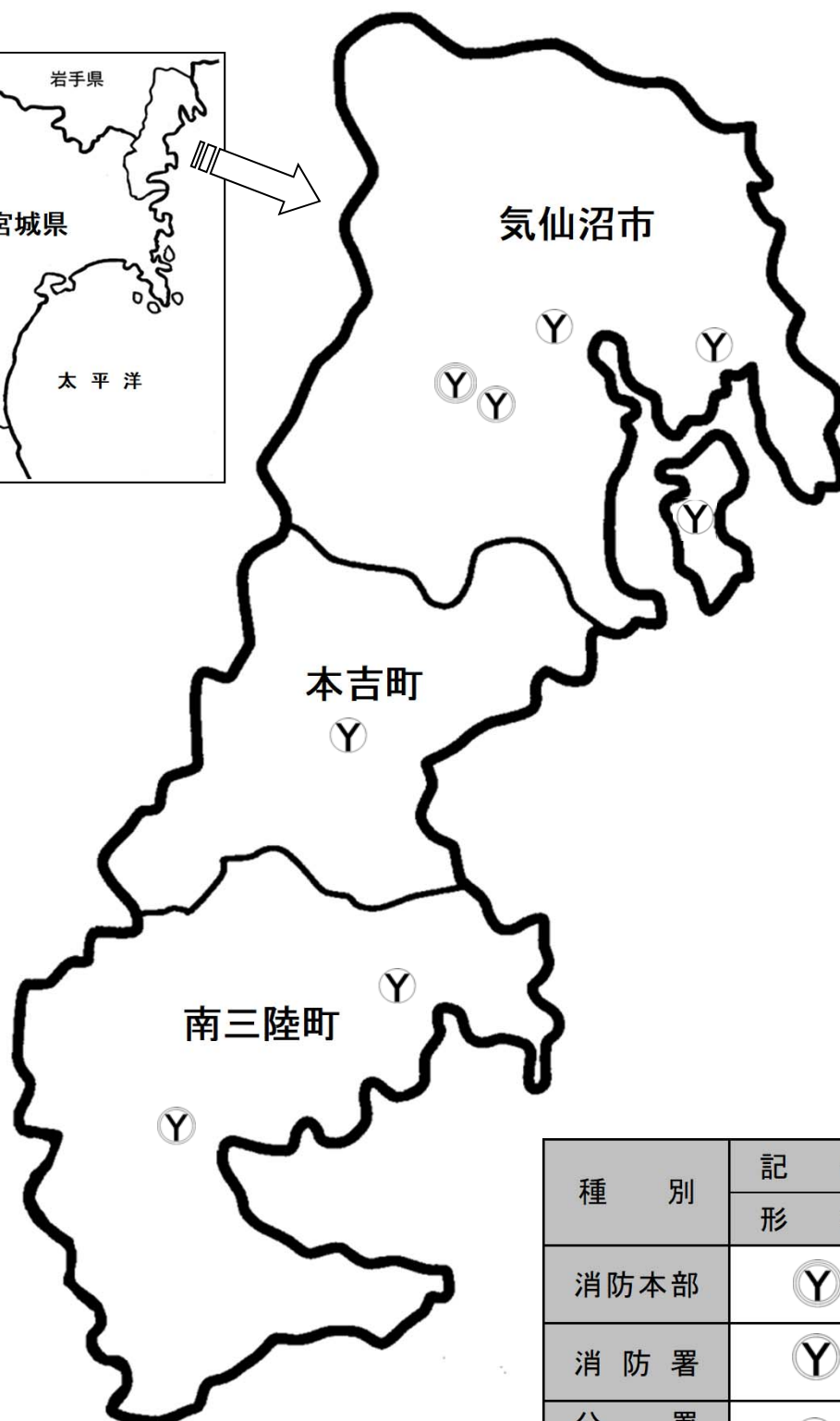
平成9年7月25日	志津川消防署歌津出張所の広報車を更新、多機能型広報車を配置。
9月27日	元気仙沼消防署副署長（故）吉田謙一氏 従七位勲六等瑞宝章を叙される。
10月24日	救急救命士国家試験（1人）合格。
平成10年2月8日	広域防災センター入館者 50,000 人達成。
3月1日	自動車電話・携帯電話 119 番受付業務を開始。
3月16日	気仙沼消防署に小型動力ポンプ付水槽車を配置。
4月1日	消防職員 6 人採用。
4月17日	救急救命士国家試験（1人）合格。
6月15日	志津川消防署津山出張所に多機能型消防広報車配置。
9月18日	志津川消防署歌津出張所庁舎建設設計業務及び地質調査業務委託入札。
10月30日	救急救命士国家試験（1人）合格。
12月7日	広域防災センター入館者 60,000 人達成。
12月22日	気仙沼消防署大島出張所に救急自動車（2B型）配置。
平成11年1月25日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車（CD－Ⅱ型）配置。
4月1日	消防職員 5 人採用。
〃	消防職員定数を 197 人に改正。
4月29日	第3代消防長畠山誠氏 勲五等瑞宝章に叙される。
5月13日	第59回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
9月30日	水難救助用資機材を気仙沼消防署に配備。
11月12日	志津川消防署に資機材搬送車配置。
11月24日	救急救命士国家試験（1人）合格。
12月10日	志津川消防署津山出張所に高規格救急自動車配置。
12月31日	コンピュータ西暦 2000 年問題に伴う警戒。
平成12年3月10日	高速消防救急艇「あさぎり」就航（19t）。
3月15日	志津川消防署歌津出張所新庁舎落成。
3月23日	広域防災センター入館者 70,000 人達成。
4月1日	消防職員 5 人採用。
〃	権限移譲事務の開始。（煙火消費の許可事務、建設用びょう打ち銃用空砲許可事務、液化石油ガスの設備工事に関する事務）
4月27日	気仙沼消防署本吉分署に高規格救急自動車配置。
5月2日	救急救命士国家試験（1人）合格。
7月7日	気仙沼消防署唐桑出張所に消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）配置。
7月25日	第41回宮城県消防操法大会を歌津町で開催。
12月4日	救急救命士国家試験（2人）合格。
平成13年3月31日	広域防災センター入館者 80,000 人達成。
4月1日	消防職員 6 人採用。
〃	宮城県内航空消防応援協定締結。
〃	防災・消防ヘリコプター24時間運航開始。
5月7日	救急救命士国家試験（1人）合格。
9月20日	「宮城県沖地震長期評価」の発表に伴い、地震・津波対策検討委員会の設置。
9月～10月	第56回宮城県国民体育大会（夏季・秋季）実施。（柔道・9人制バレーボール）

平成 13 年 11 月 13 日	救急救命士国家試験（2 人）合格。
11 月 21 日	気仙沼・本吉地域広域テロ対策特別本部の設置。化学防護服を気仙沼消防署、本吉分署、志津川消防署に配備。
12 月 18 日	気仙沼消防署南町出張所に高規格救急車配置。
平成 14 年 4 月 1 日	第 8 代消防長に菊田清一氏就任。
〃	消防職員 5 名採用。
4 月 17 日	平成 14 年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を本吉町小泉地区において実施。
4 月 29 日	第 4 代消防長川合昭伍氏 勲五等双光旭日章に叙される。
5 月 8 日	救急救命士国家試験（1 人）合格。
〃	広域防災センター入館 90,000 人達成。
10 月 1 日	高速消防救急艇あさぎり大島係留業務開始。
10 月 9 日	組合設立及び広域消防発足 30 周年記念式典。
12 月 10 日	志津川消防署歌津出張所に消防ポンプ自動車（CD－I 型）配置。
12 月 13 日	志津川消防署に水槽付消防ポンプ自動車（I－A 型）配置。
〃	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車（I－A 型）配置。
平成 15 年 2 月 26 日	(社)気仙沼市シルバー人材センターから指揮車の寄贈を受け、消防本部に配置。
3 月 11 日	救急業務の高度化を目的として、気仙沼地域メディカルコントロール協議会を設立。
3 月 26 日	気仙沼消防署唐桑出張所に高規格救急車配置。
4 月 1 日	消防職員 3 人採用。
4 月 23 日	救急救命士国家試験（2 人）合格。
5 月 14 日	広域防災センター入館 100,000 人達成。
5 月 26 日	三陸南地震。(18 時 24 分発生) 震源地…宮城県沖 震源の深さ…70km 地震の規模…M7.0 計測震度 震度 5 強 (気仙沼市、志津川町、唐桑町、歌津町) 震度 5 弱 (本吉町) 震度 4 (津山町)
7 月 26 日	宮城県北部連続地震。 ①0 時 13 分 震源地…宮城県北部 震源の深さ…ごく浅い 地震の規模…M5.6 計測震度 震度 4 (歌津町、志津川町、津山町) 震度 3 (気仙沼市、唐桑町) 震度 2 (本吉町) ②7 時 13 分 震源地…宮城県北部 震源の深さ…約 10km 地震の規模…M6.2 計測震度 震度 4 (気仙沼市、歌津町、志津川町、津山町) 震度 3 (唐桑町、本吉町) ③10 時 22 分 震源地…宮城県北部 震源の深さ…約 10km 地震の規模…M5.1 計測震度 震度 3 (気仙沼市) 震度 2 (唐桑町、志津川町、津山町) 震度 1 (本吉町)
8 月 26 日	宮城県消防協会本吉支部の事務局所在地及び業務が、宮城県気仙沼地方振興センターから消防本部へ移管された。
10 月 23 日	第 68 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11 月 14 日	救急救命士国家試験（1 人）合格。

平成 15 年 11 月 19 日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車（BD－I 型）配置。
12 月 8 日	志津川消防署津山出張所に消防ポンプ自動車（CD－I 型）配置。
平成 16 年 1 月 8 日	平成 15 年 7 月 26 日に発生した宮城県北部地震での現地活動に対し、消防庁長官功 労章を受章。
4 月 1 日	消防職員 3 人採用。
4 月 27 日	救急救命士国家試験（1 人）合格。
〃	第 27 回全国消防長会東北支部消防職員意見発表大会（新潟市）において阿部利彦消 防士優秀賞を受賞。
9 月 1 日	平成 16 年度 9. 1 宮城県総合防災訓練を気仙沼市階上地区において実施。
〃	緊急通報 F A X 受信運用開始。
9 月 30 日	広域防災センター入館 110,000 人達成。
10 月 20 日	元消防職員（故）村上賢吾氏 正七位瑞宝双光章に叙される。
11 月 11 日	救急救命士国家試験（2 人）合格。
平成 17 年 1 月 27 日	宮城県消防長会幹部研修会において吉田東消防司令の「新潟県中越地震体験」講話 が行われた。
2 月 23 日	当広域管内初の気管挿管認定救急救命士誕生。
3 月 31 日	登米市（4 月 1 日）への身分移管に伴う職員 10 名退職。 広域市町村合併に伴う志津川消防署津山出張所の消防業務事務引継及び閉庁式を実 施。
4 月 20 日	救急救命士国家試験（1 人）合格。
5 月 16 日	元消防長（故）熊谷昭一氏 正六位瑞宝双光章に叙される。
5 月 28 日	気仙沼港において塩釜海上保安部「巡視船くりこま」潜水隊との合同潜水訓練を実 施。
8 月 16 日	8. 16 宮城県沖地震（11 時 46 分発生）。 震源地……宮城県沖 震源の深さ……42km 地震の規模……M7. 2 計測震度…震度 5 弱（気仙沼市・志津川町・歌津町） 震度 4（本吉町・唐桑町）
10 月 1 日	志津川町・歌津町が合併し「南三陸町」となり、1 市 3 町で組合再編。 志津川消防署から南三陸消防署へ名称変更。
11 月 10 日	救急救命士国家試験（1 人）合格。
11 月 15 日	10 時 45 分地震発生。 震源地……三陸沖 震源の深さ……ごく浅い 地震の規模……M7. 1 計測震度…震度 3（気仙沼市） 各海岸で 18～30 cm の潮位の変化計測
12 月 2 日	南三陸消防署歌津出張所に高規格救急車配置。
平成 18 年 2 月 8 日	南三陸消防署に消防ポンプ自動車（CD－I 型）配置。
2 月 13 日	広域防災センター入館 120,000 人達成。
3 月 1 日	谷村明信氏から潜水用資機材 7 式の寄贈を受けた。
3 月 3 日	気仙沼消防署に災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車配置。
3 月 31 日	気仙沼市・唐桑町が合併し新「気仙沼市」となり、1 市 2 町で組合再編。
4 月 1 日	消防職員 8 人採用。

平成 18 年 4 月 24 日	救急救命士国家試験（2 人）合格。
7 月 8 日	気仙沼港において塩釜海上保安部「巡視船くりこま」潜水隊との合同潜水訓練実施。
9 月 24 日	気仙沼湾に係留中のカツオ船（FRP 製）から火災が発生し、約 12 時間にわたる消火活動が行われた。
10 月 6 日	宮城県消防職員野球大会決勝大会が南三陸町歌津「平成の森」で行われ、気仙沼・本吉チームが優勝。
10 月 17 日	当広域管内初の「薬剤（エピネフリン）投与の実施に係る認定」救急救命士誕生。
11 月 1 日	気仙沼ライオンズクラブから自動体外式除細動器（AED）1 台の寄贈を受け、防災センターに配置。
12 月 26 日	気仙沼消防署に水難救助車を配置。
平成 19 年 1 月 24 日	気仙沼消防署本吉分署に消防ポンプ自動車（CD-I 型）配置。
3 月 28 日	宮城県防潮水門遠隔操作システムの操作装置が南三陸消防署に設置され運用開始。
4 月 1 日	第 9 代消防長に菅原武人氏就任。
〃	消防職員 7 人採用。当広域管内初の女性消防士誕生。
5 月 1 日	救急救命士国家試験（1 人）合格。現在 27 名

圏域管内図



種 別	記 号
	形 状
消 防 本 部	
消 防 署	
分 出 張 所	

位置及び管内情勢

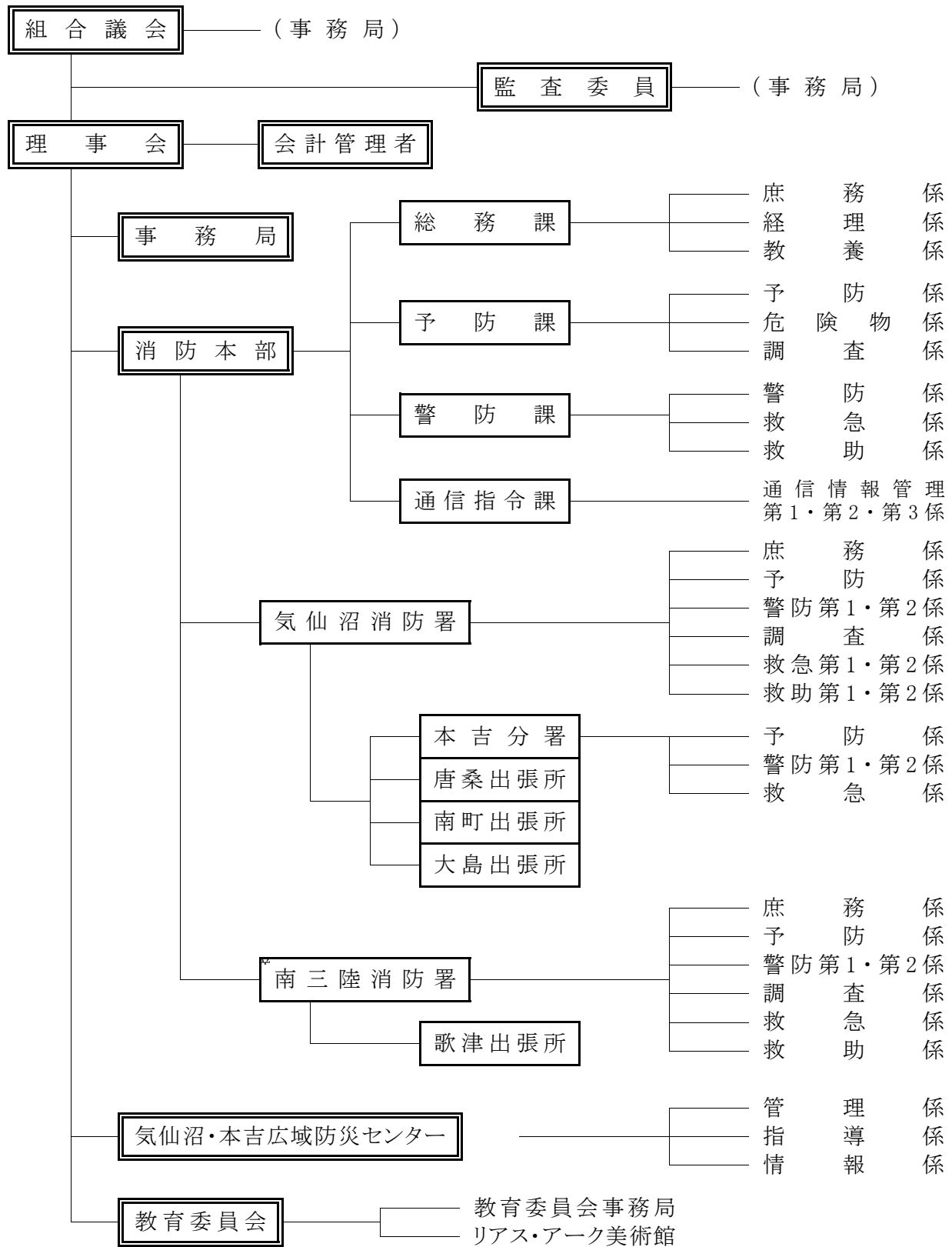
気仙沼・本吉地域は、気仙沼市・本吉町・南三陸町の1市2町で構成され、宮城県の最北端に位置し、東は雄大な太平洋に面し、西は北上山系の支脈の稜線で、岩手県や宮城県の内陸市町村と接しています。また、太平洋側は、変化に富んだ美しいリアス式海岸で、陸中海岸国立公園、南三陸金華山国定公園に指定され、多くの観光客が訪れています。

(平成19年4月1日現在)

市 町 名	面 積 (km ²)	世 帯 数 (世帯)	人 口 (人)
気 仙 沼 市	226.67	23,090	66,111
本 吉 町	106.70	3,487	11,644
南 三 陸 町	163.74	5,359	18,568
合 計	497.11	31,936	96,323

組合組織図

(平成19年4月1日現在)



庁 舎 位 置

(平成19年4月1日現在)

本 部 ・ 署 所	所 在 地	敷地面積(㎡)	構 造	面 積(㎡)	竣 工
消 防 本 部 気 仙 沼 消 防 署 防 災 セ ン タ ー	〒988-0104 気仙沼市赤岩五駄鱈43-2	6,255.0	鉄筋コンクリート 3階建	建1,700.3 延2,981.4	平5.10
気 仙 沼 消 防 署 南 町 出 張 所	〒988-0017 気仙沼市南町4丁目1-9	591.8	鉄筋コンクリート 一部鉄骨3階建	建279.63 延814.43	昭35.6 昭51.5増
気 仙 沼 消 防 署 大 島 出 張 所	〒988-0604 気仙沼市廻館113-1	429.4	軽量鉄骨造一部 木造1階建	建162.2 延162.2	昭54.3 平14.10増
気 仙 沼 消 防 署 唐 桑 出 張 所	〒988-0535 気仙沼市唐桑町馬場183-4	693.0	鉄筋コンクリート 1階建	建223.1 延223.1	昭48.1
気 仙 沼 消 防 署 本 吉 分 署	〒988-0309 本吉郡本吉町津谷松尾1-1	700.8	鉄筋コンクリート 2階建	建208.25 延314.50	昭48.1
南 三 陸 消 防 署	〒986-0768 本吉郡南三陸町志津川 字御前下59-2	2,904.0	鉄筋コンクリート 2階建	建192.00 延384.00	昭47.12
南 三 陸 消 防 署 歌 津 出 張 所	〒988-0453 本吉郡南三陸町歌津 字伊里前233-3	1,132.7	鉄 骨 2 階 建	建479.39 延679.39	平12.3

待 機 宿 舎 位 置

(平成19年4月1日現在)

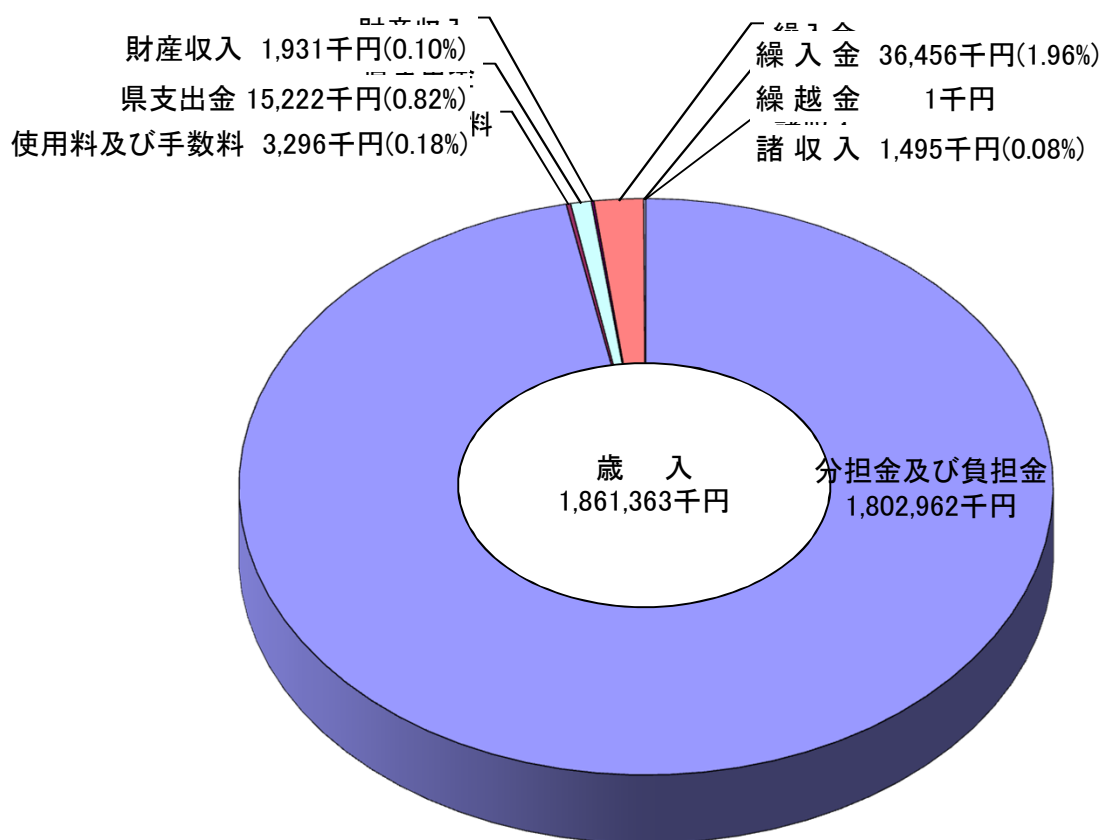
所 在 地	室 数	構 造	面 積(㎡)	竣 工
〒988-0171 気仙沼市赤岩牧沢44-114	単身用4室	木 造 1 階 建	115.93	平9.3
〒988-0535 気仙沼市唐桑町馬場189-1	世帯用2室	鉄 骨 耐 火 構 造 1 階 建	99.84	昭57.2
〒988-0309 本吉郡本吉町津谷松尾68-9	世帯用2室	鉄 骨 耐 火 構 造 1 階 建	100.00	昭58.3
〒986-0776 本吉郡南三陸町志津川 字竹川原47-4	世帯用6室	鉄 骨 耐 火 構 造 2 階 建	297.61	昭55.3
〒988-0455 本吉郡南三陸町歌津 字吉野沢61-162	世帯用2室	鉄 骨 耐 火 構 造 1 階 建	99.84	昭53.3

総

務



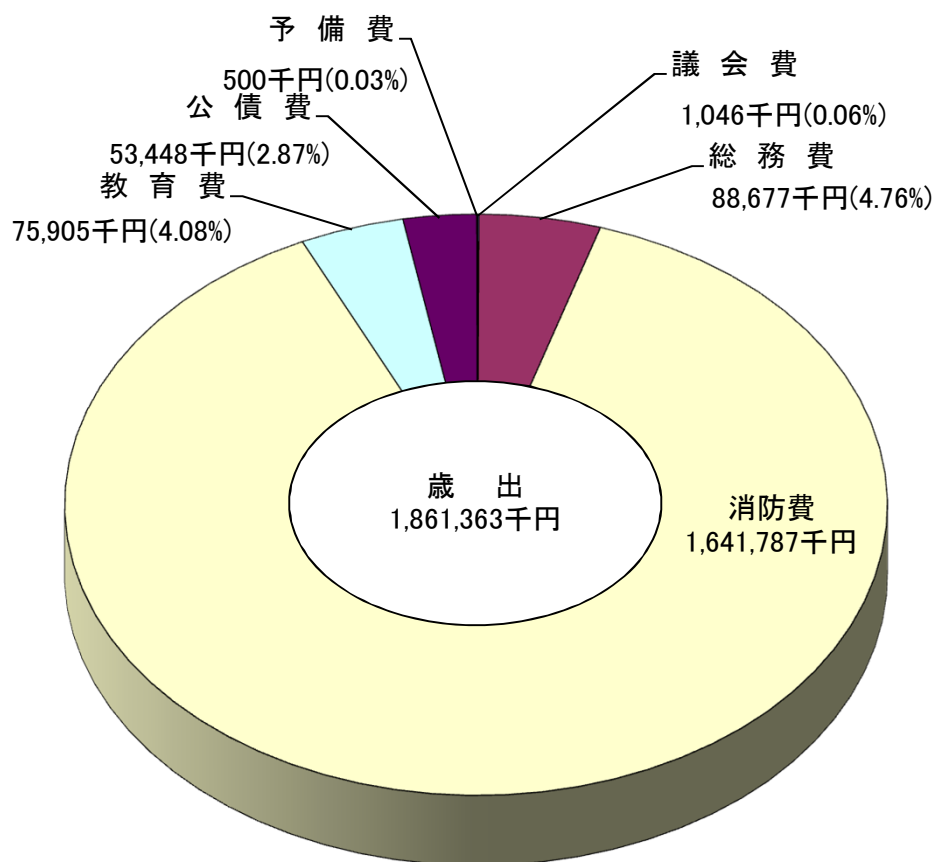
平成19年度当初歳入予算



(単位：千円)

科 目	平成19年度予算額	平成18年度予算額	比 較
分 担 金 及 び 負 担 金	1,802,962	1,862,313	△ 59,351
使 用 料 及 び 手 数 料	3,296	2,226	1,070
国 庫 支 出 金	0	0	0
県 支 出 金	15,222	19,622	△ 4,400
財 産 収 入	1,931	281	1,650
繰 入 金	36,456	13,696	22,760
繰 越 金	1	1	0
諸 収 入	1,495	1,218	277
地 方 債	0	15,300	△ 15,300
合 計	1,861,363	1,914,657	△ 53,294

平成19年度当初歳出予算



(単位：千円)

科 目	平成19年度予算額	平成18年度予算額	比 較
議 会 費	1,046	1,118	△ 72
総 務 費	88,677	69,344	19,333
消 防 費	1,641,787	1,685,366	△ 43,579
教 育 費	75,905	108,088	△ 32,183
公 債 費	53,448	50,171	3,277
予 備 費	500	570	△ 70
合 計	1,861,363	1,914,657	△ 53,294

平成19年度(当初)組合消防費にかかる性質別歳出の財源内訳

(単位:千円)

区 分	予 算 額	財 源 内 訳			
		国・県支出金	組 合 債	そ の 他	一 般 財 源
人 件 費	1,560,808	14,050		969	1,545,789
物 件 費	64,827	1,172		2,422	61,233
維 持 補 修 費	5,334			4,000	1,334
補 助 費 等	11,318				11,318
公 債 費	53,448				53,448
合 計	1,695,735	15,222	0	7,391	1,673,122

平成19年度(当初)構成市町の一般会計と消防予算

(単位:千円)

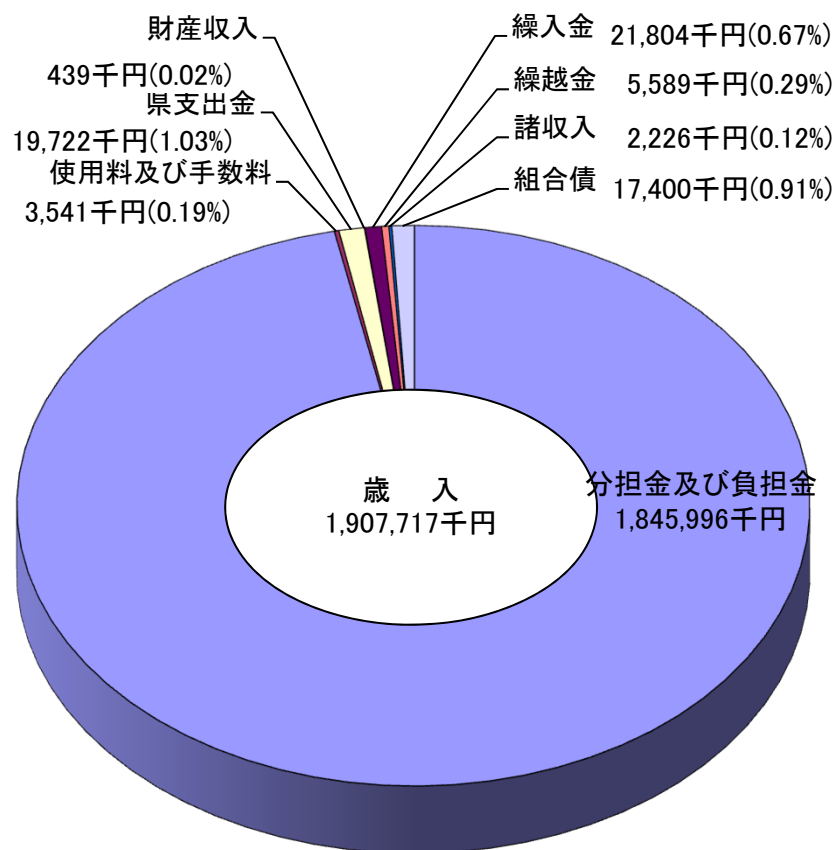
区 分	一 般 会 計 A	消 防 費 B	内 訳			割 合 B/A (%)
			常 備	非 常 備	そ の 他	
気 仙 沼 市	19,776,989	1,095,767	994,341	85,495	15,931	5.5
本 吉 町	4,221,000	287,240	250,256	22,849	14,135	6.8
南 三 陸 町	9,185,280	512,047	428,535	45,713	37,799	5.6
合 計	33,183,269	1,895,054	1,673,132	154,057	67,865	5.7

平成18年度(決算)構成市町分担金負担割合

(単位:千円)

区 分	消 防 費 基 準 財 政 需 要 額		消 防 費 負 担 金	
	金 額 (千円)	構 成 比 (%)	金 額 (千円)	構 成 比 (%)
旧 気 仙 沼 市	667,026	51.05	813,945	48.65
旧 唐 桑 町	136,401	10.44	180,396	10.78
本 吉 町	189,655	14.51	250,256	14.96
旧 志 津 川 町	211,385	16.18	282,373	16.88
旧 歌 津 町	102,248	7.82	146,152	8.74
合 計	1,306,715	100.00	1,673,122	100.00

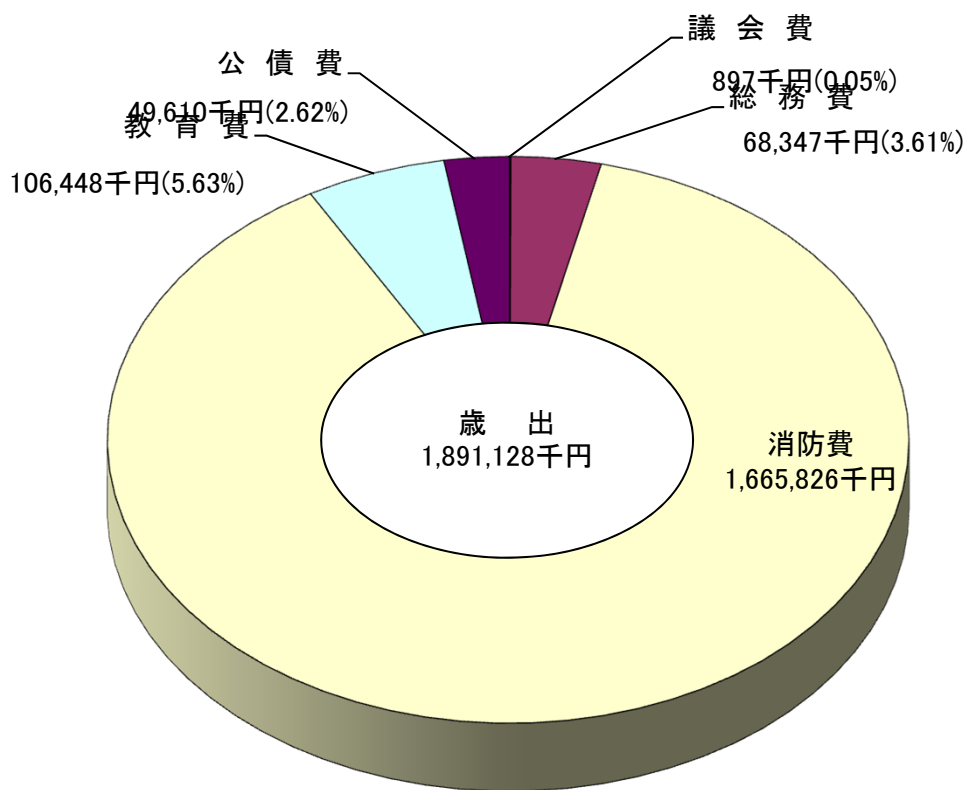
平成18年度歳入決算



(単位：千円)

科 目	平成18年度予算額(最終)	平成18年度決算額	比 較
分 担 金 及 び 負 担 金	1,845,996	1,845,996	0
使 用 料 及 び 手 数 料	2,496	3,541	1,045
県 支 出 金	19,731	19,722	△ 9
財 産 収 入	582	439	△ 143
繰 入 金	14,240	12,804	△ 1,436
繰 越 金	5,589	5,589	0
諸 収 入	1,218	2,226	1,008
組 合 債	17,400	17,400	0
合 計	1,907,252	1,907,717	465

平成18年度歳出決算



(単位：千円)

科 目	平成18年度予算額(最終)	平成18年度決算額	比 較
議 会 費	1,024	897	△ 127
総 務 費	70,389	68,347	△ 2,042
消 防 費	16,781,451	1,665,826	△ 15,115,625
教 育 費	108,031	106,448	△ 1,583
公 債 費	49,663	49,610	△ 53
予 備 費	0	0	0
合 計	17,010,558	1,891,128	△ 15,119,430

消 防 職 員 配 置 状 況

(平成19年 4 月 1 日現在)

区 分		合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	事務吏員
消 防 本 部	消 防 長	1	1							
	次 長	1		1						
	総 務 課	12		2	1		1		7	1
	警 防 課	3		1	1	1				
	予 防 課	3		1		2				
	通 信 指 令 課	10		1	3	3	3			
	小 計	30	1	6	5	6	4		7	1
気 仙 沼 消 防 署 管 内	気仙沼消防署	43		2	4	15	13	2	7	
	本 吉 分 署	21			2	6	8	2	3	
	南 町 出 張 所	15			1	3	6	2	3	
	大 島 出 張 所	18			1	2	10		5	
	唐 桑 出 張 所	16			1	4	4	1	6	
	小 計	113		2	9	30	41	7	24	
南 三 陸 消 防 署 管 内	南三陸消防署	32		2	3	7	10	1	9	
	歌 津 出 張 所	16			1	2	10	1	2	
	小 計	48		2	4	9	20	2	11	
合 計		191	1	10	18	45	65	9	42	1

総務課には、気仙沼消防署からの出向者 1 名及び宮城県消防学校入校者 7 名を含む。
 気仙沼消防署には、宮城県消防学校派遣 1 名及び宮城県防災ヘリコプター隊員 1 名を含む。
 本吉分署には、宮城県消防学校派遣 1 名を含む。
 広域組合事務局出向者 1 名は含まない。

消 防 職 員 階 級 別 勤 続 年 数

(平成19年4月1日現在)

階級 勤続年数	合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	事務吏員
平均勤続年数	21.8	41.0	35.5	34.1	26.2	22.9	33.9	4.3	6.0
合 計	191	1	10	18	45	65	9	42	1
1 年 未 満	7							7	
1 年 以 上	8							8	
2 "									
3 "	3							3	
4 "	3							3	
5 "	4							4	
6 "	7					1		5	1
7 "	5					2		3	
8 "	5					1		4	
9 "	5					3		2	
10 "	6				2	3		1	
11 "	7					5		2	
12 "	7					7			
13 "	7				2	5			
14 "	1					1			
15 "	4				2	2			
16 "	2				2				
17 "	3				2	1			
18 "									
19 "									
20 "									
21 "	2				2				
22 "	3				3				
23 "	3				3				
24 "									
25 "	3				3				
26 "	3				2	1			
27 "									
28 "									
29 "	3			1	2				
30 "									
31 "	2				1	1			
32 "	8				2	4	2		
33 "	28		1	4	7	15	1		
34 "	23		2	7	5	7	2		
35 "	17		2	4	4	3	4		
36 "	2		2						
37 "	5		2	2		1			
38 "	2		1			1			
39 "	1				1				
40 "									
41 "	2	1				1			

広域組合事務局出向者1名は含まない。

消 防 職 員 階 級 別 年 齢

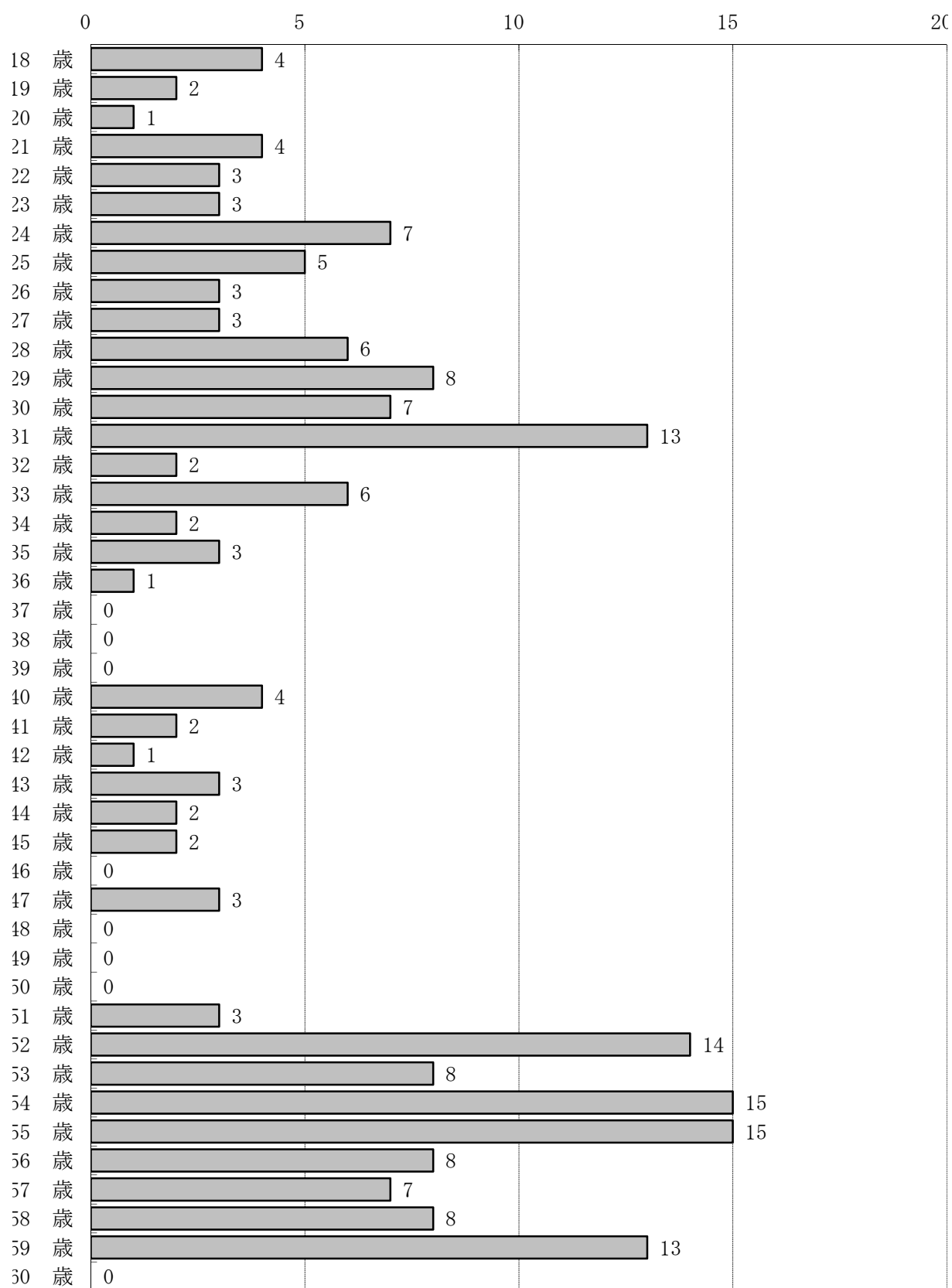
(平成19年 4 月 1 日現在)

階級 年 齢	合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	事務吏員
平 均 年 齢	42.0	59.0	56.5	55.1	46.0	43.4	54.9	24.0	24.0
合 計	191	1	10	18	45	65	9	42	1
18 歳	4							4	
19 歳	2							2	
20 歳	1							1	
21 歳	4							4	
22 歳	3							3	
23 歳	3							3	
24 歳	7							6	1
25 歳	5							5	
26 歳	3							3	
27 歳	3					1		2	
28 歳	6					3		3	
29 歳	8					4		4	
30 歳	7					5		2	
31 歳	13				2	11			
32 歳	2					2			
33 歳	6				4	2			
34 歳	2				1	1			
35 歳	3				2	1			
36 歳	1					1			
37 歳									
38 歳									
39 歳									
40 歳	4				4				
41 歳	2				2				
42 歳	1				1				
43 歳	3				3				
44 歳	2				2				
45 歳	2				2				
46 歳									
47 歳	3			1	1	1			
48 歳									
49 歳									
50 歳									
51 歳	3					2	1		
52 歳	14			2	7	5			
53 歳	8			1	3	4			
54 歳	15		2	4	4	3	2		
55 歳	15		2	2	3	4	4		
56 歳	8		2		1	4	1		
57 歳	7			4	2	1			
58 歳	8		1	2	1	4			
59 歳	13	1	3	2		6	1		
60 歳									

広域組合事務局出向者1名は含まない。

消 防 職 員 年 齢 構 成 図

(平成19年 4 月 1 日現在)



学 校 等 教 育 状 況 (過去10年)

種 別 \ 年 度			平成 18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	計	
宮 城 県 消 防 学 校	初 任 総 合 教 育		8		3	3	5	6	5	5	6	6	47	
	専 科 教 育	警 防 科		2		2							4	
		火 災 調 査 科	2		1		2		2				7	
		予 防 査 察 科			1	2		2			2	2	9	
		危 険 物 科	2				2				2		6	
		特 殊 災 害 科		2									2	
		救 助 科							4	6	5	2	17	
		救急科	標準課程							6	8	8	8	30
			Ⅱ 課 程											0
	幹 部 教 育	初 級 幹 部 科				2		2		2		2	8	
		中 級 幹 部 科	2		1		2		2		2	2	11	
		上 級 幹 部 科		1									1	
	特 別 教 育	はしご自動車操作講習科					1				2		3	
		気管挿管講習	3	6	3	1							13	
		薬剤投与講習	4										4	
	小 計			21	11	9	10	12	10	19	21	27	22	162
消 防 大 学 校	本 科				1		1		1				3	
	幹 部 研 修 科					1	1		1			1	4	
	予 防 科										1		1	
	警 防 科				1			1		1			3	
	救 急 科		1										1	
	小 計			1	0	2	1	2	1	2	1	1	1	12
救急救命士	救急救命東京研修所		1	2	2	1	2	2	2	2	1	2	17	
	上記以外の研修所等			東消1	東消1	東消1		東消1	東消1				5	
合 計			23	14	14	13	16	14	24	24	29	25	196	

職 員 特 殊 技 能 資 格 取 得 状 況

(平成19年4月1日現在)

階 級			総 数	消防司令長 以 上	消防司令	消 司 令 防 補	消防士長	消 副 士 防 長	消 防 士
種 別	消防吏員数			190	11	18	45	65	9
大型免許	2 種		6			4	2		
	1 種		96	4	9	27	35	7	14
	特 殊		5			1	1	1	2
	け ん 引		7	1	1	2	3		
普通免許	2 種		1			1			
	1 種		190	11	18	45	65	9	42
自動 2 輪	普 通		31	2	1	14	6		8
	大 型		58	6	12	16	18	5	1
整 備 管 理 者			8	1	2	3	1	1	
救 急 救 命 士			26		1	14	10		1
潜 水 士			23			8	11		4
海技士	航 海	3 級	1				1		
		4 級	1				1		
	機 関	3 級	1	1					
		4 級							
		5 級	1			1			
小 型 船 舶 操 縦 士		1 級	12			1	9		2
		2 級	36	2	6	12	12		4
無線	陸 上 特 殊	1 級	1						1
		2 級	27	1	3	12	9	2	
		3 級	64	1	2	5	21		35
	海上特殊	1 級	1						1
		2 級	3				2		1
	ア マ チュア	2 級	1				1		
		4 級	3			2	1		
		電話級	9	1	4	3	1		
クレーン 小 型	固定式	3			1	1	1		
	移動式	56	1	4	17	25	1	8	
玉 掛 技 能 講 習			53	1	3	16	24	1	8
特定化学物質等作業主任者			2			2			
アセチレンガス溶接士			5			2	2		1
電 気 工 事 士			3	1	1		1		
建 築 士	2 級		1		1				
映 写 技 師	1 6 ミリ		8		3	4	1		
衛生管理者	第 1 種		4	3			1		
危 険 物 取 扱 者	甲 種		3	1		2			
	乙 種		120	9	9	27	40	2	33
消 防 設 備 士	甲 種		6	2	2	1	1		
	乙 種		21	2	3	7	5		4

広域組合事務局出向者1名は含まない。

予

防



はたらく消防の写生会 最優秀賞 気仙沼市立小原木小学校3年 柏 京佑 君

防 火 対 象 物

消防法第17条対象物

(平成19年4月1日現在)

市 町 別 用 途 別			合 計	気 仙 沼 市	本 吉 町	南 三 陸 町
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 演 芸 場 等	1	1		
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	124	50	33	41
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等				
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	18	14	1	3
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等	3	3		
	ロ	飲 食 店	70	57	4	9
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	174	131	8	35
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所 等	201	145	13	43
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	272	228	1	43
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	55	44	2	9
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	83	61	9	13
	ハ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	17	10	4	3
7		学 校 ・ 各 種 学 校 等	160	108	21	31
8		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等	7	4		3
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等	2	2		
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	3	3		
10		車 両 の 停 車 場 等	6	6		
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	53	32	8	13
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	531	397	38	96
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	2	2		
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	9	5	3	1
	ロ	飛 行 機 な ど の 格 納 庫				
14		倉 庫	289	227	14	48
15		前各項に該当しない事業場	244	184	16	44
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	127	98	7	22
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	51	41	3	7
16の2		地 下 街				
16の3		準 地 下 街				
17		文 化 財 等	6	3		3
合 計			2,508	1,856	185	467

用途別消防用設備等の設置状況

(平成19年4月1日現在)

消防用設備等 用 途 別			消 火 設 備			警 報 設 備			避 難 設 備	
			消 火 器	屋 内 消 火 栓	ス ク プ ラ ン ー	自 報 動 知 火 設 災 備	漏 警 電 報 火 災 機	非 警 報 設 常 備	避 難 器 具	誘 導 灯
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	1		1	1				1
	ロ	公会堂・集会場	124	11		33	1	26	8	55
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール	18		1	18				18
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
3	イ	待合・料理店等	3					1	1	2
	ロ	飲食店	70			29	2	19	7	54
4		百貨店・マーケット・店舗等	174	15	4	100	1	50	7	141
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	201	19	3	127	55	39	31	179
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	272	2		41	2	4	34	2
6	イ	病院・診療所・助産所	55	10	5	41	20	30	7	45
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	83	8	8	56	5	1	3	46
	ハ	幼稚園・養護学校等	17	3		13	2			6
7		学校・各種学校等	160	79		115	5	68	34	6
8		図書館・博物館・美術館等	7	1		3		2	1	3
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	2			2			1	2
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	3					3		
10		車両の停車場等	6			2			2	2
11		神社・寺院・教会等	53	1		1	3	21	1	
12	イ	工場・作業場	531	58		195	3	8	1	22
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	2			1				
13	イ	自動車車庫・駐車場	9			1				1
	ロ	飛行機などの格納庫								
14		倉庫	289	37		84		1		31
15		前各項に該当しない事業場	244	8		41	2	44	17	23
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	127	4	2	65	3	18	14	68
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	51	1		7	3	1	2	2
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		文化財等	6			5				
合 計			2,508	257	24	981	107	336	171	709

用途別予防査察状況

(平成18年度中)

市 町 別 用 途 別			合 計	気 仙 沼 市	本 吉 町	南 三 陸 町
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 演 芸 場 等				
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	62	20	23	19
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等				
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	7		1	6
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等				
	ロ	飲 食 店	58	41	4	13
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	111	81	7	23
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所 等	225	141	12	72
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	12	1		11
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	33	20	2	11
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	75	45	7	23
	ハ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	14	6	3	5
7		学 校 ・ 各 種 学 校 等	65	28	21	16
8		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等	4	1		3
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等				
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場				
10		車 両 の 停 車 場 等	1	1		
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	33	12	8	13
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	74	26	34	14
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ				
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場				
	ロ	飛 行 機 な ど の 格 納 庫				
14		倉 庫	36	18		18
15		前各項に該当しない事業場	30	15	1	14
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	47	7	10	30
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	11	2	1	8
16の2		地 下 街				
16の3		準 地 下 街				
17		文 化 財 等	3			3
合 計			901	465	134	302

用途別中高層建築物の現況

(平成19年4月1日現在)

区 分 用 途 別			法 対 象 第 17 条 数	法 第 8 条 対 象 物 数		中 高 層 建 築 物					
				甲種	乙種	3階	4階	5階	6階	7階	8階
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	1	1		1					
	ロ	公会堂・集会場	124	35	90	4	2				
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	18	18							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
3	イ	待合・料理店等	3	2	1		1				
	ロ	飲食店	70	33	42	2	1		1		
4		百貨店・マーケット・店舗等	174	110	27	13	2				
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	201	103	28	10	3		3		3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	272	11	2	69	8	5	1		
6	イ	病院・診療所・助産所	55	20		11	4	5	2		
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	83	58	5	3	2				
	ハ	幼稚園・養護学校等	17	11	1	1					
7		学校・各種学校等	160	58		43	4	2			
8		図書館・博物館・美術館等	7	3	4	2					
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	2	2							
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	3	2	1						
10		車両の停車場等	6	1		1					
11		神社・寺院・教会等	53	20	9		1				
12	イ	工場・作業場	531	42	3	25	2	1			
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	2								
13	イ	自動車車庫・駐車場	9			2					
	ロ	飛行機などの格納庫									
14		倉庫	289			15	3				
15		前各項に該当しない事業場	244	56	14	56	6	5	4		
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	127	68	8	46	4	4		2	1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	51	1		8	1				
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財等	6		1						
合 計			2,508	655	236	312	44	22	11	2	4

防火管理者を要する対象物

(平成19年4月1日現在)

市 町 別 用 途 別			合 計		気仙沼市		本吉町		南三陸町	
			甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 演 芸 場 等	1		1					
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	35	90	18	34	8	24	9	32
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	18		14		1		3	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等	2	1	2	1				
	ロ	飲 食 店	33	42	28	35	1	3	4	4
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	110	27	96	19	2		12	8
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所 等	103	28	75	18	7	2	21	8
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	11	2	8	2			3	
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	20		17		1		2	
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	58	5	42	4	8		8	1
	ハ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	11	1	7		3		1	1
7		学 校 ・ 各 種 学 校 等	58		39		7		12	
8		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等	3	4	3	1				3
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等	2	1	2	1				
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	2		2					
10		車 両 の 停 車 場 等	1		1					
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	20	9	14	6	3	1	3	2
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	42	3	34	3	5		3	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場								
	ロ	飛 行 機 な ど の 格 納 庫								
14		倉 庫								
15		前各項に該当しない事業場	56	14	39	10	3	3	14	1
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	68	8	48	6	5		15	2
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	1				1			
16の2		地 下 街								
16の3		準 地 下 街								
17		文 化 財 等		1						1
合 計			655	236	490	140	55	33	110	63

建 築 同 意 事 務

(平成18年度中)

市 町 別 用 途 別			合 計	気 仙 沼 市	本 吉 町	南 三 陸 町
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 演 芸 場 等				
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	6	4		2
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等				
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ンス ホール				
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等	4	4		
	ロ	飲 食 店				
4		百 貨 店 ・ マーケット ・ 店 舗 等	12	11		1
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所 等	1	1		
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	9	7	1	1
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	2	2		
	ロ	老人福祉施設・養護施設等	4		3	1
	ハ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	2	2		
7		学 校 ・ 各 種 学 校 等	6	5		1
8		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等				
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等				
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場				
10		車 両 の 停 車 場 等				
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	2	1	1	
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	22	17		5
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ				
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	2	2		
	ロ	飛 行 機 な ど の 格 納 庫				
14		倉 庫	17	13	4	
15		前各項に該当しない事業場	23	15	5	3
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	7	5		2
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物				
17		文 化 財 等				
18		延長50メートル以上のアーケード				
		専 用 住 宅	37	36	1	
		併 用 住 宅	7	4	3	
		そ の 他				
合 計			163	129	18	16

危 険 物

危険物施設

(平成19年4月1日現在)

市 町 別 製造所等別		合 計	気 仙 沼 市	本 吉 町	南 三 陸 町
合 計		438	326	37	75
製 造 所					
貯 蔵 所	小 計	300	235	19	46
	屋 内	42	30	6	6
	屋 外 タ ン ク	44	38	1	5
	屋 内 タ ン ク	11	10		1
	地 下 タ ン ク	84	58	8	18
	簡 易 タ ン ク	1	1		
	移 動 タ ン ク	81	68	1	12
	屋 外	37	30	3	4
取 扱 所	小 計	138	91	18	29
	給 油	69	42	9	18
	第 一 種 販 売	1	1		
	第 二 種 販 売				
	一 般	65	45	9	11
	移 送	3	3		

危険物施設の予防査察実施状況

(平成18年度中)

市 町 別 製造所等別		合 計	気 仙 沼 市	本 吉 町	南 三 陸 町
合 計		230	141	11	78
製 造 所					
貯 蔵 所	小 計	133	84	2	47
	屋 内	11	3	1	7
	屋 外 タ ン ク	6	1		5
	屋 内 タ ン ク	1			1
	地 下 タ ン ク	19	5		14
	簡 易 タ ン ク	1	1		
	移 動 タ ン ク	84	68	1	15
	屋 外	11	6		5
取 扱 所	小 計	97	57	9	31
	給 油	72	46	8	18
	第 一 種 販 売				
	第 二 種 販 売				
	一 般	22	8	1	13
	移 送	3	3		

危険物事務処理件数

(平成18年度中)

区 分 製造所等別		許 可		完 成		完成 (タンク 検査前 検査)	仮 使 用	種 類・ 数量 変更	譲 渡 引 渡	廃 止 届	合 計
		設置	変更	設置	変更						
合 計		8	19	8	21	3	5	6	7	14	91
製 造 所											
貯 蔵 所	小 計	7	13	7	14	3	1	4	3	6	58
	屋 内										
	屋外タンク		1		1	1		1		1	5
	屋内タンク										
	地下タンク	2	4	3	4		1		1		15
	簡易タンク										
	移動タンク	4	8	4	9	2		1	2	4	34
	屋 外	1						2		1	4
取 扱 所	小 計	1	6	1	7		4	2	4	8	33
	給 油		5		6		3	2	4	5	25
	第一種販売										
	第二種販売										
	一 般	1	1	1	1		1			3	8
	移 送										

民 間 防 火 組 織

危険物安全協会結成状況

(平成19年4月1日現在)

名 称		結 成 年 月 日	会 員 数	摘 要
気仙沼本吉地区危険物安全協会		S48. 4. 24	124	
気仙沼支部	小 計		98	
	気 仙 沼 市	S32. 3. 17	80	
	気 仙 沼 市 唐 桑 町	S35. 8	9	
	本 吉 町	S35. 8	9	
南三陸支部	小 計		26	
	南 三 陸 町 志 津 川	S35. 8	21	
	南 三 陸 町 歌 津	S35. 8	5	

防火管理者協会結成状況

(平成19年4月1日現在)

名 称		結 成 年 月 日	会 員 数	摘 要
1	気 仙 沼 市	S42. 9. 28	169	
2	気 仙 沼 市 唐 桑 町	S52. 11. 21	51	
3	本 吉 町	S51. 8. 20	67	
4	南 三 陸 町 志 津 川	S49. 12. 5	93	
5	南 三 陸 町 歌 津	S55. 11. 21	50	
合 計			430	

幼年消防クラブ結成状況

(平成19年4月1日現在)

市 町 名	結成年月日	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	摘 要
1 気 仙 沼 市	S57. 6. 10	26	1, 140	
2 気仙沼市唐桑町	H元. 12. 25	1	46	
3 本 吉 町	S59. 12. 4	2	86	
4 南三陸町志津川	S58. 3. 9	5	295	
5 南三陸町歌津	S56. 6. 4	2	104	
合 計		36	1, 671	

少年消防クラブ結成状況

(平成19年4月1日現在)

ク ラ ブ 名	結成年月日	隊員数	所 在 地
1 小 原 木 小 学 校	S55. 7. 16	17	気仙沼市唐桑町岩井沢97-3
2 中 井 〃	S55. 7. 17	9	気仙沼市唐桑町欠浜134-3
3 唐 桑 〃	S55. 7. 23	37	気仙沼市唐桑町宿浦400-2
4 馬 籠 〃	S59. 7. 20	13	本吉町小金山1-1
5 気 仙 沼 〃	S63. 6. 4	71	気仙沼市笹ヶ陣3-1
6 南気仙沼 〃	H元. 4. 25	77	気仙沼市南郷25-1
7 九 条 〃	H 3. 5. 17	64	気仙沼市九条326
合 計		288	

婦人防火クラブ結成状況

(平成19年4月1日現在)

ク ラ ブ 連 合 会 名	結成年月日	単位クラブ数	会 員 数	事 務 局 所 在 地
1 気 仙 沼 市	S56. 5. 28	18	1, 892	気仙沼市赤岩五駄鱈43-2
2 唐 桑 町	S45. 6. 17	4	729	気仙沼市唐桑町馬場181-1
3 本 吉 町	S50. 4. 9	40	3, 489	本吉町津谷松尾1-1
4 南三陸町志津川	S46. 5. 18	41	3, 936	南三陸町志津川字塩入77
5 南三陸町歌津	S47. 1. 27	17	923	南三陸町歌津字伊里前91
6 気仙沼本吉地区 婦人防火クラブ連合会	S56. 8. 11	120	10, 969	気仙沼市赤岩五駄鱈43-2

警

防



平成19年度 大規模津波防災総合訓練

消 防 車 両

消防車両等の配置状況

(平成19年 4 月 1 日現在)

所 属 車 両	合 計	消 防 本 部	気 仙 沼 消 防 署	南 町 出 張 所	大 島 出 張 所	唐 桑 出 張 所	本 吉 分 署	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計	39	6	11	3	4	3	4	5	3
消 防 ポ ン プ 自 動 車	10	1 (非常用)	2	2	1	1	1	1	1
水 槽 付 ポ ン プ 車	2						1	1	
化 学 車	1		1						
小型動力ポンプ付水槽車	1		1						
は し ご 車 (30m 級)	1		1						
照 明 電 源 車	1		1						
救 助 工 作 車	1		1						
水 難 救 助 車	1		1						
高 速 消 防 救 急 艇	1				1				
高 規 格 救 急 自 動 車	6		1	1		1	1	1	1
救 急 自 動 車	2	1 (非常用)			1				
指 令 車	3	1	1					1	
査 察 車	1						1		
指 揮 車	1	1							
多 機 能 型 広 報 車	2					1			1
広 報 車	2	1			1				
資 器 材 搬 送 車	2		1					1	
人 員 輸 送 車	1	1							

消防車両等の配置現況

(平成19年4月1日現在)

所 属	名 称	車 名	登録年月	経過年数	無 線 呼 称
消 防 本 部	指 令 車	ト ヨ タ	H01.12	17	本 部 指 揮 1
	指 揮 車	ト ヨ タ	H15.02	4	〃 指 揮 2
	防 火 広 報 車	ト ヨ タ	H04.09	14	〃 広 報 1
	人 員 輸 送 車	イ ス ブ	H03.02	16	
	消防ポンプ車(非常用)	イ ス ブ	S61.03	21	本 部 ポンプ 1
	救急自動車(非常用)	日 産	H05.09	13	〃 救 急 1
気仙沼消防署	消防ポンプ車(2号車)	三 菱	H11.01	8	気仙沼 ポンプ 1
	消防ポンプ車(3号車)	ト ヨ タ	H15.11	3	〃 ポンプ 2
	化 学 車 (防 災 85 号)	イ ス ブ	S60.08	21	〃 化 学 1
	小型動力ポンプ付水槽車	日 野	H10.03	9	〃 タンク 1
	は し ご 車	日 野	H18.02	1	〃 梯 子 1
	救 助 工 作 車	三 菱	H06.09	12	〃 救 助 1
	水 難 救 助 車	日 産	H07.11	11	〃 救 助 2
	照 明 電 源 車	イ ス ブ	S57.12	24	〃 照 明 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H06.03	13	〃 救 急 1
	指 令 車	三 菱	H09.12	9	〃 指 揮 1
	資 器 材 搬 送 車	ト ヨ タ	S62.10	19	〃 搬 送 1
南 町 出 張 所	消防ポンプ車(1号車)	イ ス ブ	S57.03	25	南 町 ポンプ 1
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	H07.03	12	〃 ポンプ 2
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H13.12	5	〃 救 急 1
大 島 出 張 所	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	H07.12	11	大 島 ポンプ 1
	救 急 自 動 車	日 産	H10.12	8	〃 救 急 1
	広 報 連 絡 車	ト ヨ タ	H03.09	15	〃 搬 送 1
	高 速 消 防 救 急 艇		H12.03	7	あさぎり 1
唐 桑 出 張 所	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	H12.06	6	唐 桑 ポンプ 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H15.03	4	〃 救 急 1
	多機能型広報車	三 菱	H09.03	10	〃 搬 送 1
本 吉 分 署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H19.01	0	本 吉 ポンプ 1
	水 槽 付 ポ ン プ 車	日 野	H14.12	4	〃 水 槽 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H12.04	6	〃 救 急 1
	査 察 車	日 産	H04.03	15	〃 指 揮 1
南三陸消防署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	H18.01	1	南三陸 ポンプ 1
	水 槽 付 ポ ン プ 車	日 野	H14.12	4	〃 水 槽 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H09.01	10	〃 救 急 1
	指 令 車	日 産	H04.03	15	〃 指 揮 1
	資 器 材 搬 送 車	ト ヨ タ	H11.10	7	〃 搬 送 1
歌 津 出 張 所	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	H14.12	4	歌 津 ポンプ 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H17.11	1	〃 救 急 1
	多機能型広報車	ト ヨ タ	H09.06	9	〃 搬 送 1

消防力の整備指針と現有

消防本部・署所の人員

(消防施設整備計画実態調査：平成18年4月1日現在)

区 分		基準台数 (台)	基準台数 に対する 人 員 の 基 準 数 (人)	現有台数 (非常用 を除く) (台)	現有台数 に対する 人 員 の 基 準 数 (人)	現 有 人 員 数 (人)
指揮隊員	指 揮 車	4	231	4	216	141
消防隊員	消 防 ポ ン プ 自 動 車	11		11		
	は し ご 自 動 車	1		1		
	化 学 消 防 車	8		8		
	三 点 セ ッ ト	0		0		
	消 防 艇	1		1		
	特 殊 車	9		9		
救急隊員	救 急 自 動 車	7		7		
	救 急 用 航 空 機	—		—		
救助隊員	救 助 工 作 車 (A 及 び B を 除 く)	1		0		
	救 助 工 作 車 (省 令 4 条 救 助 隊) A	1		1		
	その他の消防用自動車 B	0		0		
通 信 員						13
予防要員	予 防 事 務 の 要 員	状 況 を 勘 案 し 定 め た 人 員 数				14
	危 険 物 事 務 の 要 員	〃				1
庶務の処理等の人員						27

※化学消防車：「泡放出装置を備えた消防ポンプ自動車」等を含む。

※三点セット：「大型化学消防車」「大型高所放水車」「泡原液搬送車」をいう。

※特殊車：「照明電源車」「小型動力ポンプ付水槽車」「広報車」「資機材搬送車」等を含む。

署所及び動力消防ポンプの基準と現有

(消防施設整備計画実態調査：平成18年4月1日現在)

市 町 名	地 域 名	人 口 (人)	署 所					動 力 消 防 ポ ン プ 数							
			基 準 数		現 有 数	不 足 数	比 率 (%)	署所管理分		消 防 団 管 理 分					
								プ消 車防 台ポ 数ン (台)		プ消 車防 台ポ 数ン (台)		ン型手 プ動引 力・ 数ポ小 (口)		ポ動 ン力 プ消 数防 (口)	
			国	市町村 ア	イ	アーイ	イ／ア ×100	国	市町村 ウ	国	市町村 エ	国	市町村 オ	国	市町村
気 仙 沼 市	市 街 地	36,644	2	2	2		100	4	4	1	7	4	12	6	26
	準市街地	21,690		2	2		100		2		3		24	46	30
	そ の 他	9,840											23		23
	計	68,174	2	4	4		100	4	6	1	10	4	59	52	79
本 吉 町	市 街 地	—													
	準市街地	4,211		1	1		100		2		2		8	10	12
	そ の 他	7,696											22		22
	計	11,907		1	1		100		2		2		30	10	34
南 三 陸 町	市 街 地	—													
	準市街地	13,459		2	2		100		3		3		25	28	31
	そ の 他	5,811											26		26
	計	19,270		2	2		100		3		3		51	28	57
合 計	市 街 地	36,644	2	2	2		100	4	4	1	7	4	12	6	26
	準市街地	39,360		5	5		100		7		8		57	84	73
	そ の 他	23,347											71		71
	計	99,351	2	7	7		100	4	11	1	15	4	140	90	170

市 町 名	地 域 名	消防ポンプ車現有数				動力消防ポンプ現有数									
		合 計				署所管理分				消 防 団 管 理 分					
		プ消 防 車 数 ン (台)	算化 学 車 数 換 (台)	不 足 数 (台)	比 率 (%)	プ消 防 車 数 ン (台)	算化 学 車 数 換 (台)	不 足 数 (台)	比 率 (%)	プ消 防 車 数 ン (台)	不 足 数 (台)	比 率 (%)	力手 ポ引 ン小 プ型 数動 (口)	不 足 数 (台)	比 率 (%)
		カ+キ ①		(ウ+ エ) -①	①/(ウ+ エ)× 100	カ		ウ-カ	カ/ウ ×100	キ	エ-キ	キ/エ ×100	ク	オーク	ク/オ ×100
気 仙 沼 市	市 街 地	11			100	4			100	7		100	12		100
	準市街地	5			100	2			100	3		100	24		100
	そ の 他												23		100
	計	16			100	6			100	10		100	59		100
本 吉 町	市 街 地														
	準市街地	4			100	2			100	2		100	8		100
	そ の 他												22		100
	計	4			100	2			100	2		100	30		100
南 三 陸 町	市 街 地														
	準市街地	8		△2	133	3			100	5	△2	167	25		100
	そ の 他												26		100
	計	8		△2	133	3			100	5	△2	167	51		100
合 計	市 街 地	11			100	4			100	7		100	12		100
	準市街地	17		△2	113	7			100	10	△2	125	57		100
	そ の 他												71		100
	計	28		△2	108	11			100	17	△2	113	140		100

消 防 水 利

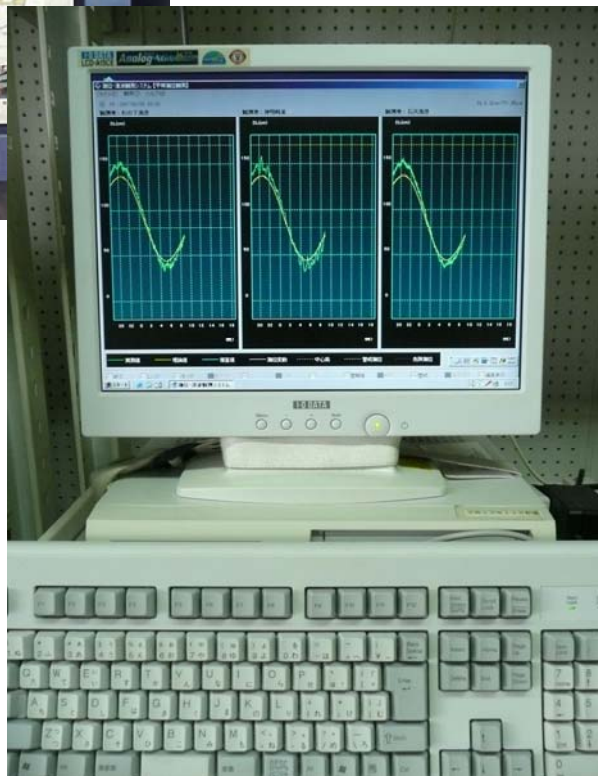
管内水利状況

(平成19年4月1日現在)

市 町			気 仙 沼 市		本 吉 町		南 三 陸 町		合 計		
種 別											
合 計 (A) + (B) + (C)			1,415		364		476		2,255		
消 火 栓	小 計 (A)	地 上	500	1,030	153	187	99	277	752	1,494	
		地 下	530		34		178		742		
	公 設	地 上	465		149		99		713		
		地 下	508		33		178		719		
	私 設	地 上	35		4				39		
		地 下	22		1				23		
	防 火 水 槽	小 計 (B)		216		166		185		567	
		100m³以上		11		3		4		18	
40m³以上 100m³未満		144		85		151		380			
40m³未満		61		78		30		169			
そ の 他	小 計 (C)		169		11		14		194		
	河川・溝等		15						15		
	海 ・ 沼		125		5		1		131		
	プ ー ル		26		5		11		42		
	ごう・池等		3		1		2		6		

通

信



気仙沼市潮位・津波観測システム

通 信

通 信 施 設 の 現 況

(平成19年4月1日現在)

区 分 所 属		有 線					自 動 車 ・ 携 帯 用 電 話	無 線							
		火 災 報 知 専 用 電 話	加 入			指 令 ・ 無 線 専 用 回 線		直 通 電 話	消 防					防 災	
			一 般 回 線	サ テ レ フ ォ ン	F A X				固 定 局	基 地 局	陸 上 移 動 局			基 地 局	F A X
											車 載	携 帯	レ ー ダ ー		
合 計		23	18	1	8	9	8	9	5	6	38	23	1	1	1
消 防 本 部		23	9	1	2	2	4	1	1	1	5	4		1	1
気 仙 沼 市 消 防 署 管 内	気仙沼消防署		1			1		1			11	6			
	南町出張所		1		1	1		1			3	2			
	大島出張所		1		1	1		2		1	4	2	1		
	唐桑出張所		1		1	1	1	1	1	1	3	2			
	本吉分署		2		1	1	1	1	1	1	4	2			
	小 計		6		4	5	2	6	2	3	25	14	1		
南 三 陸 市 消 防 署 管 内	南三陸消防署		2		1	1	2	1	1	1	5	3			
	歌津出張所		1		1	1		1	1	1	3	2			
	小 計		3		2	2	2	2	2	2	8	5			

消防テレホンサービス利用状況

(平成18年)

月	利 用 件 数
1 月 ～ 3 月	3,010
4 月 ～ 6 月	1,941
7 月 ～ 9 月	2,575
10 月 ～ 12 月	2,264
合 計	9,790

119番受信件数

(平成18年)

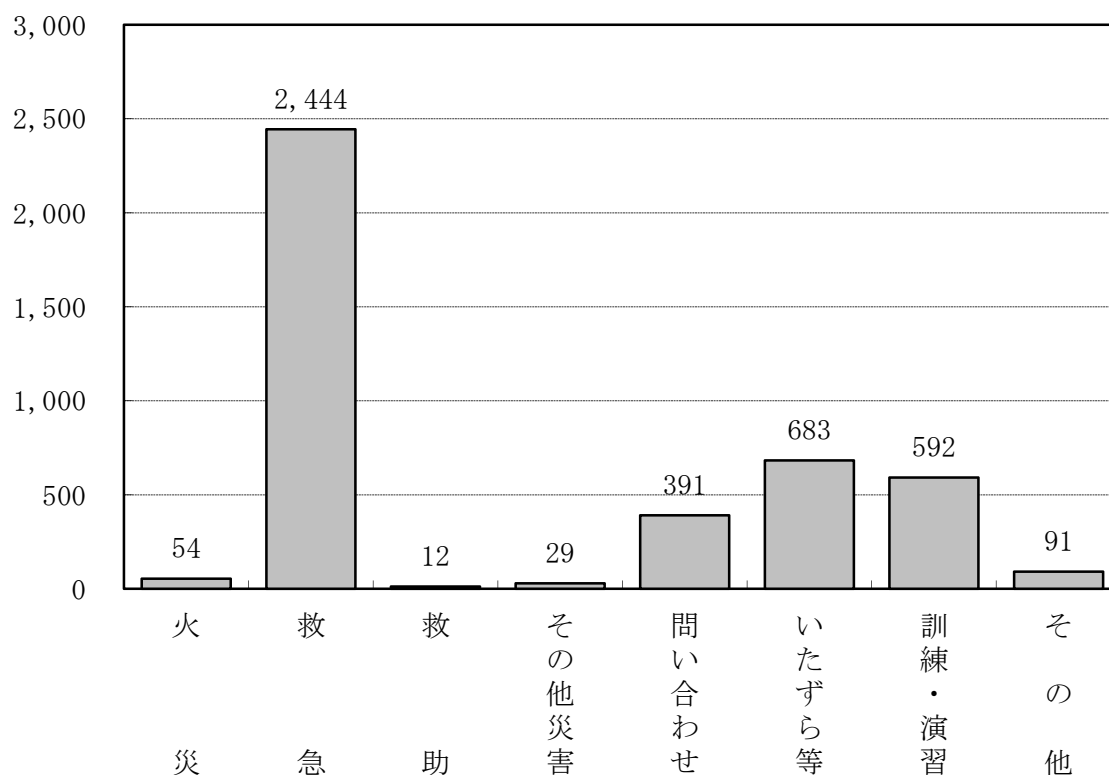
種 別		月 別												合計
種 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
一 九 番	火 災	7	1	7	2	2	2	1		11	1	2	2	38
	救 急	212	172	173	154	141	160	159	194	162	156	172	220	2,075
	救 助	4	1	1				2						8
	その他の災害	2	2	2		2	4		2	1	3	3	2	23
	問 い 合 わ せ	32	14	27	23	25	19	22	32	17	28	20	31	290
	いた ず ら 等	22	12	24	19	19	30	19	22	39	29	32	30	297
	訓 練 ・ 演 習	20	28	43	17	39	58	37	31	43	75	118	45	554
	試 験	117	94	109	96	121	96	104	99	112	107	139	137	1,331
	そ の 他	3	2			2	2	4	6	13	9	8	12	61
F A X 番	火 災													
	救 急													
	その他の災害													
	訓練・試験等		1	1	4							1		7
119番小計		419	327	387	315	351	371	348	386	398	408	495	479	4,684
携 帯 電 話	火 災	2	1	2	1				1	5		2		14
	救 急	20	31	23	23	26	20	29	42	28	31	35	30	338
	救 助	2					1	1						4
	その他の災害					1	2	1			2			6
	問 い 合 わ せ	26	11	4	9	14	4	4	6	8	2	8	5	101
	いた ず ら 等	101	29	35	29	42	9	7	25	28	38	25	18	386
	訓 練 ・ 演 習	5	6	3	2	1	2	2	1	6	5	2	3	38
	試 験	194	64										1	259
	そ の 他	1		4		1	2		5	7	4	4	2	30
他 消 防 管 内 受 信 状 況 話	火 災	2												2
	救 急	26	3								2			31
	救 助													
	上 記 以 外													
携帯電話小計		379	145	71	64	85	40	44	80	82	84	76	59	1,209
合 計		798	472	458	379	436	411	392	466	480	492	571	538	5,893

○火災・救急・救助には第2報・第3報の通報も含まれている。

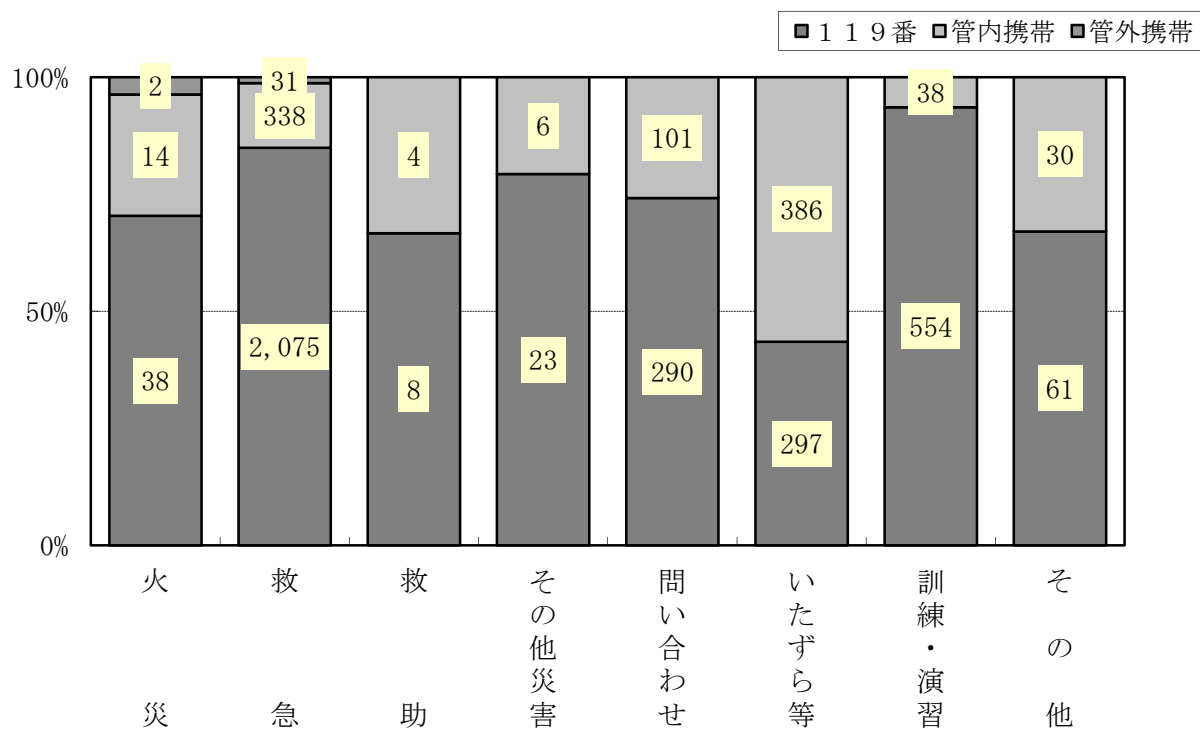
○携帯電話には、PHSも含まれる。

○FAX119は、平成16年9月1日運用開始。

119番受信件数（平成18年）



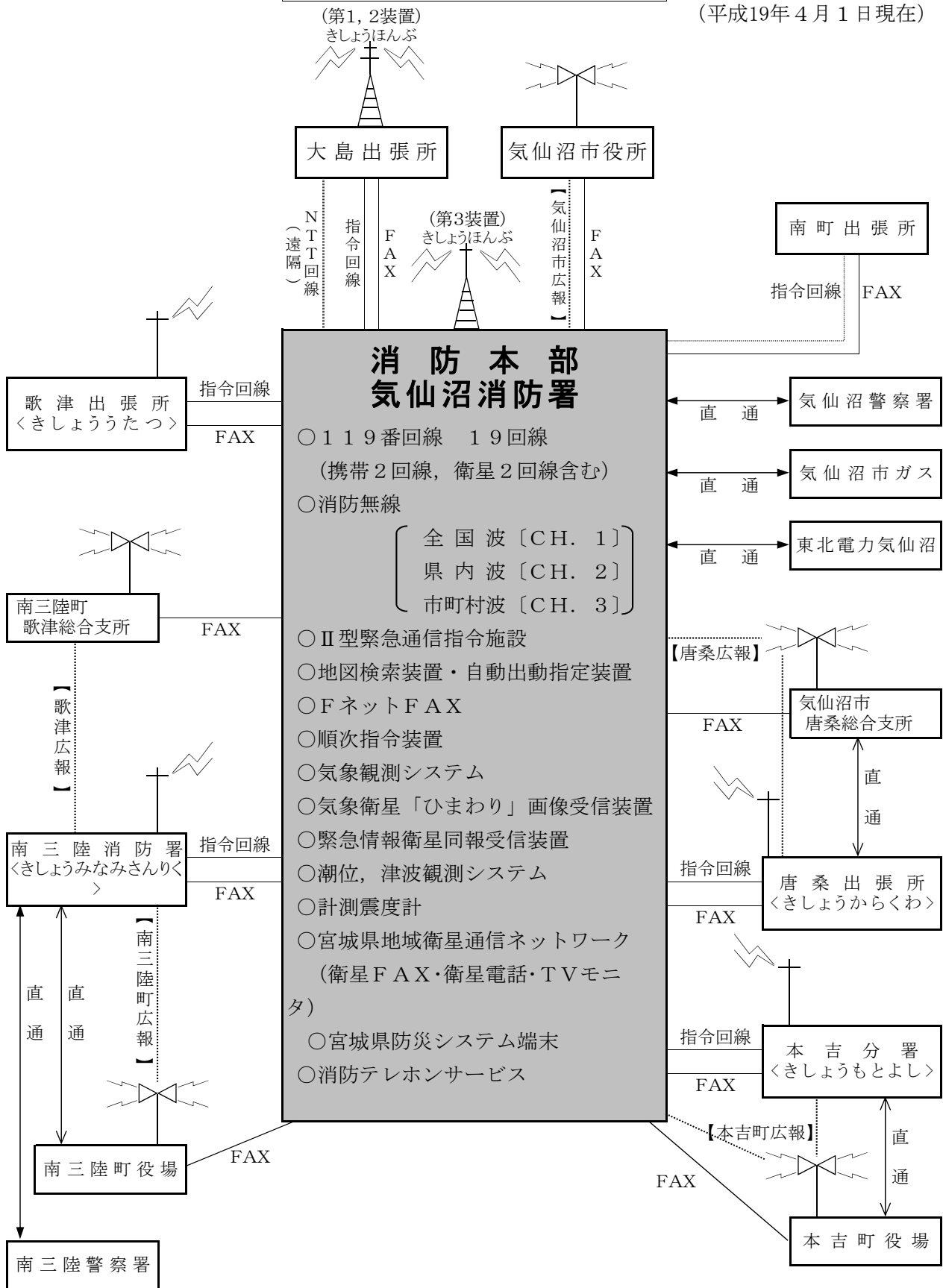
119番・携帯電話（管内・管外）比率（平成18年）



※ 「問い合わせ」・「いたずら等」・「訓練・演習」・「その他」は、管内管外の区分はなし。

通 信 系 統 図

(平成19年 4 月 1 日現在)



気 象

気象統計

(平成18年)

月 区分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計 ／ 平 均
気 温 (℃)	平 均	-0.5	1.1	4.0	7.5	13.6	17.2	20.3	23.6	19.7	14.7	9.2	3.6	11.2
	最 高	10.3	13.7	14.6	19.6	24.1	31.0	33.5	33.2	32.6	25.0	20.2	13.9	33.5
	最 低	-7.8	-8.4	-4.3	-1.2	2.3	9.7	15.4	16.9	10.6	4.2	-1.9	-3.3	-8.4
降 水 量 (mm)	総 量	8.5	74.0	109.0	133.5	172.5	161.5	244.0	42.0	257.5	246.0	173.5	104.0	1726.0
	最大日量	4.0	26.0	28.0	32.5	94.0	63.5	39.0	15.0	96.0	73.0	61.0	70.0	96.0
	積 雪 (cm)													0.0
天 気	晴	18	17	16	11	11	8	4	12	15	15	16	10	153
	曇	8	6	8	7	11	17	17	13	13	8	9	18	135
	雨		1	1	6	2	1	8	2	2	7	5	1	36
	雪	1	3	1										5
	そ の 他	4	1	5	6	7	4	2	4		1		2	36
平 均 湿 度 (%)		67.5	73.7	64.2	71.7	75.8	79.6	84.6	82.1	78.4	76.7	74.1	73.0	75.1
最 多 風 向		北西	北西	北西	北西	南南東	南南東	南東	南東	北北西	北北西	北北西	北北西	北北西
風 速	平 均	2.1	1.6	2.4	1.7	1.4	1.2	1.0	1.1	1.4	1.8	1.6	1.6	1.6
	最 大	22.3	25.9	26.8	18.6	16.5	14.2	11.6	12.1	13.8	29.3	22.5	23.2	29.3

気象情報等受信統計

(平成18年)

月 別 種 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
警 報	波 浪									1	2	2	1	6
	大 雨									3	2		1	6
	洪 水									3	2		1	6
	暴 風	3	2	4	1					1	2	2	1	16
	大 雪		1											1
	暴 風 雪	1	1											2
	津 波													
警 報 計		4	4	4	1					8	8	4	4	37
注 意 報	乾 燥	3		2	6	1						1	1	14
	強 風	4	2	1	12	8	2		1	6	5	12	7	60
	波 浪	3	2	3	5	5	3	1	1	6	4	7	2	42
	大 雨				1	4	5	5	3	8	4	1	2	33
	洪 水				1	4	6	5	3	8	4	1	2	34
	雷				5	4	9	7	11	9	3	6	1	55
	濃 霧				6	9	6	3	5	8	16	15	6	74
	大 雪		1											1
	風 雪	1	1										2	4
	着 雪		1											1
	低 温	1						2						3
	津 波											1		1
	霜			1	8	1						1		11
	高 潮							1		3	5	3	2	14
注 意 報 計		12	7	7	44	36	31	24	24	48	41	48	25	347
警報・注意報計		16	11	11	45	36	31	24	24	56	49	52	29	384
火災気象通報		20	6	21	15	4					2	5	5	78
情 報	台 風								3	21				24
	大 雨				2	7	22	40	40	21	5	5		142
	暴 風	5	2	14	3							17	17	58
	大 雪	8	14	3									4	29
	地 震				19	13	23	23	18	19	22	28	27	192
	津 波											14		14
	気 圧	13	4	8		12				14	41			92
	そ の 他	5	7		6	1	2	4	2			1	2	30
情 報 計		31	27	25	30	33	47	67	63	75	68	65	50	581
○地震情報は、県総合防災情報システム(MIDORI)より東北、北海道付近で発生した震度1以上の地震回数。														

地 震	震 度 1	1	4	4	3	2	2	2	2	1		3	1	25
	震 度 2		2	2	1				1	2	1		1	10
	震 度 3	1			1			1						3
	震 度 4													
	震 度 5 弱													
	震 度 5 強													
地 震 計		2	6	6	5	2	2	3	3	3	1	3	2	38
○震度は、気仙沼・本吉広域防災センター（気象庁設置）の震度計データ。														

管内消防団

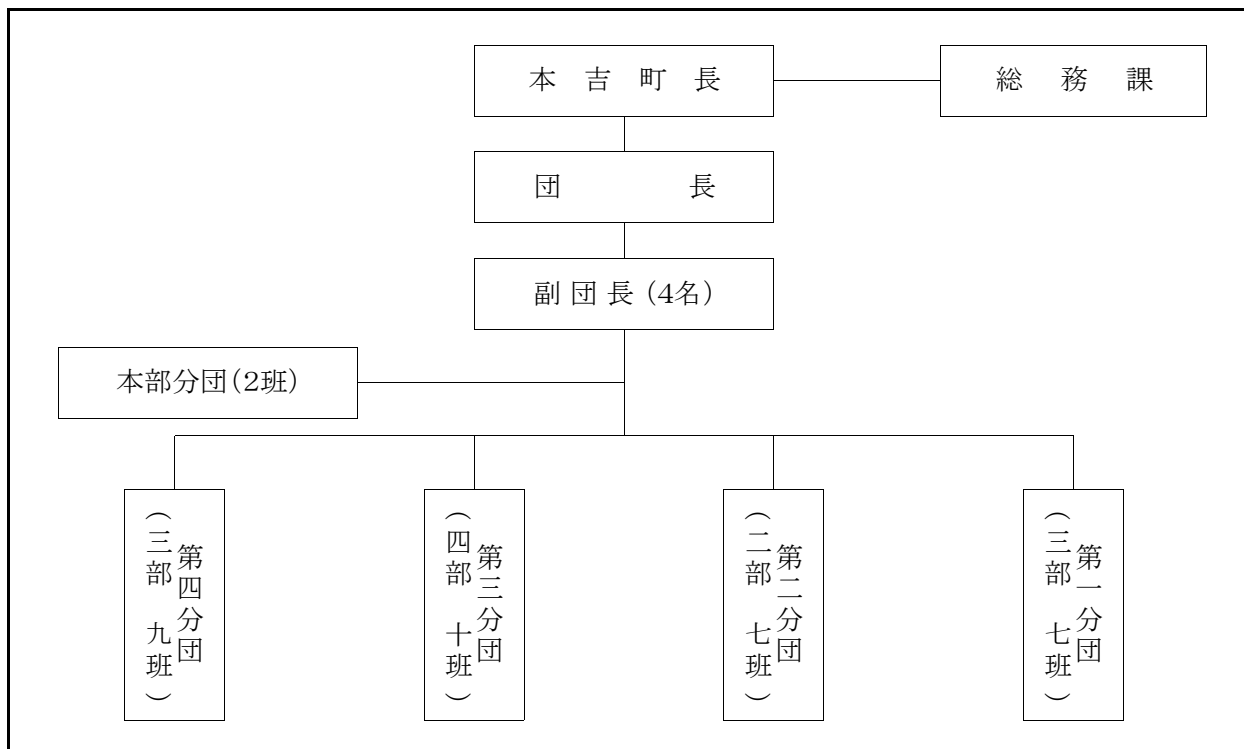
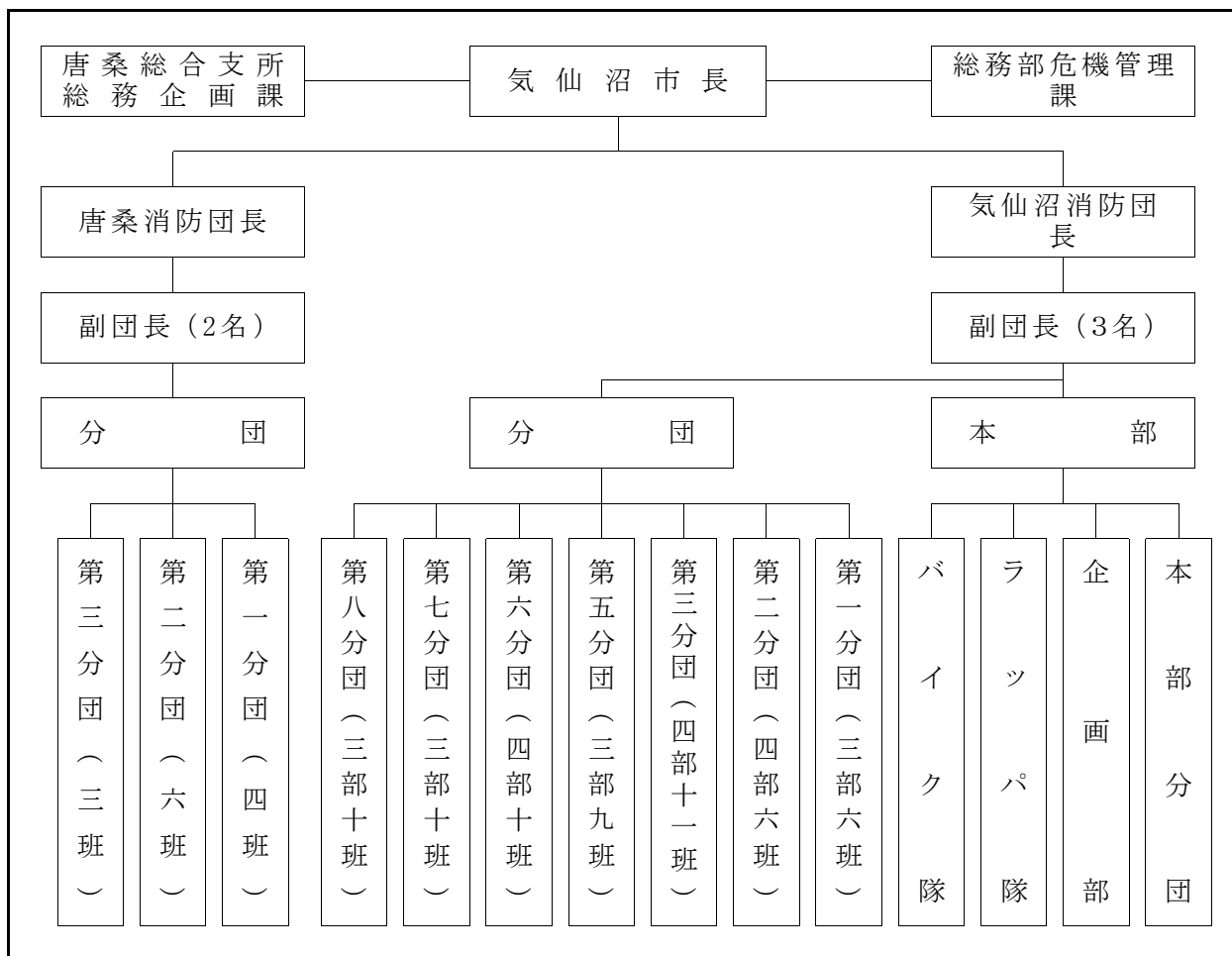


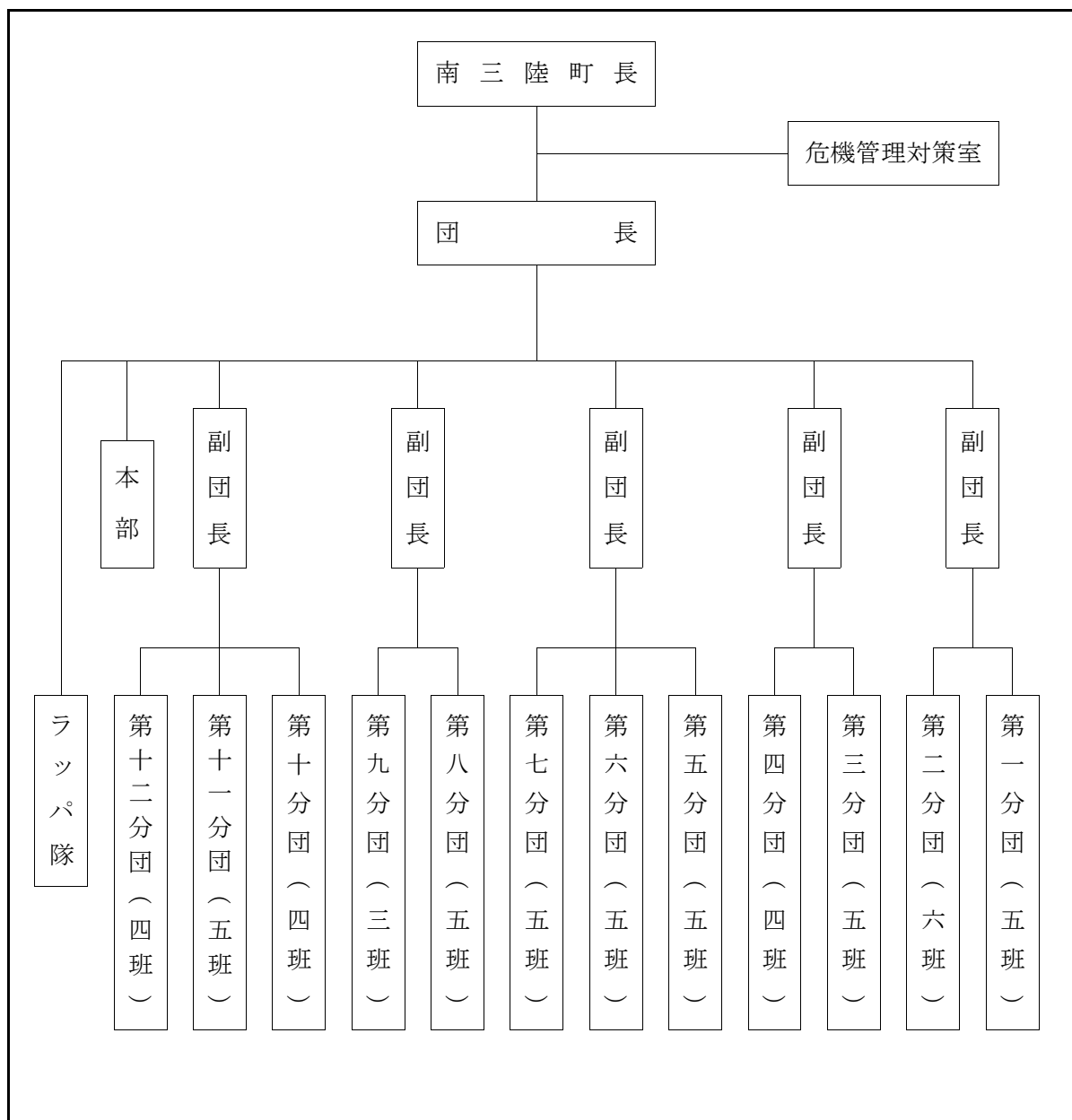
気仙沼市気仙沼消防団「赤バイ」

管内消防団

組織機構図

(平成19年4月1日現在)





組

織

(平成19年4月1日現在)

区 分 市 町		団 数	分 団 数	部 数	班 数	条例定員数	実 員 数
気仙沼市	気仙沼	1	8	26	62	700	472
	唐 桑	1	3		13		139
本 吉 町		1	5	13	35	300	268
南 三 陸 町		1	12		56	630	581
合 計		4	28	39	166	1,630	1,460

階級別消防団員数

(平成19年4月1日現在)

階 級 市 町		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
気仙沼市		2	5	11	20	30	79	464	611
本 吉 町		1	4	5	5	13	35	205	268
南 三 陸 町		1	5	12	14		57	492	581
合 計		4	14	28	39	43	171	1,161	1,460

年齢別消防団員数

(平成19年4月1日現在)

年 齢 市 町		20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	合 計
気仙沼市			51	144	186	183	47	611
本 吉 町		1	29	56	96	68	18	268
南 三 陸 町		1	44	177	232	117	10	581
合 計		2	124	377	514	368	75	1,460

在職年数別消防団員数

(平成19年4月1日現在)

年 数 市 町	5 年 未 満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30 以 上	合 計
気 仙 沼 市	128	109	94	70	76	66	68	611
本 吉 町	54	45	39	32	39	20	39	268
南 三 陸 町	127	90	125	101	61	34	43	581
合 計	309	244	258	203	176	120	150	1,460

消防団員報酬

(平成19年4月1日現在) (単位：円)

報 酬 市 町	年 報 酬							出動報酬
	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	
気 仙 沼 市	92,400	74,800	56,700	47,700	39,500	30,400	22,500	2,700
本 吉 町	66,500	46,000	32,200	28,100	25,000	24,000	21,500	2,300
南 三 陸 町	92,400	64,000	45,000	38,000		30,400	22,500	2,300

消防施設の現況

(平成19年4月1日現在)

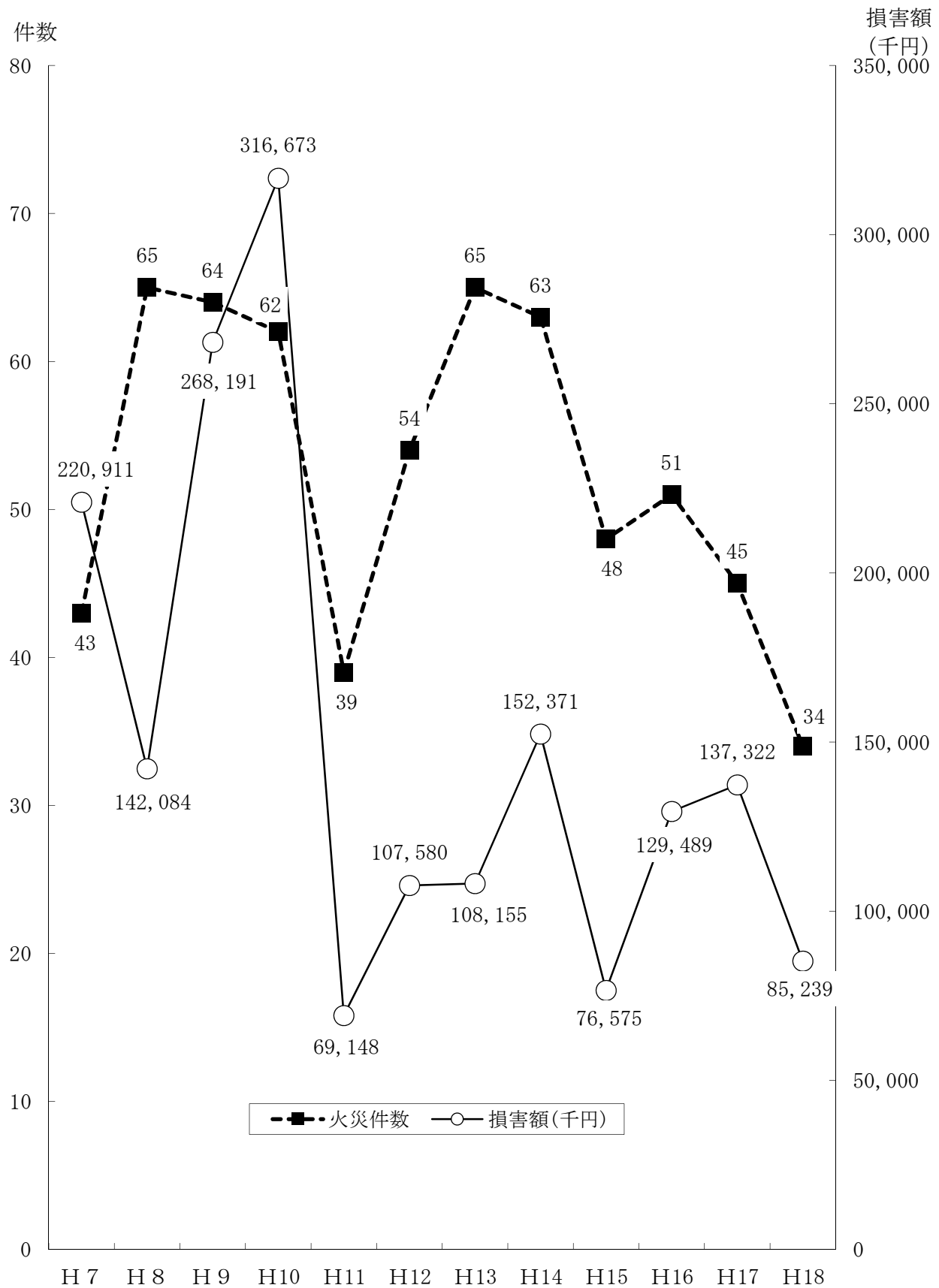
施 設 市 町	消防ポンプ 自 動 車	積 載 車	小型動力 ポ ン プ	消 火 栓	防火水槽	その他の 水 利
気 仙 沼 市	10	41	59	1,030	216	169
本 吉 町	2	23	30	187	166	11
南 三 陸 町	5	41	43	277	185	14
合 計	17	105	132	1,494	567	194

火災・救急統計



宮城県救助技術指導会

火災件数及び損害額の推移

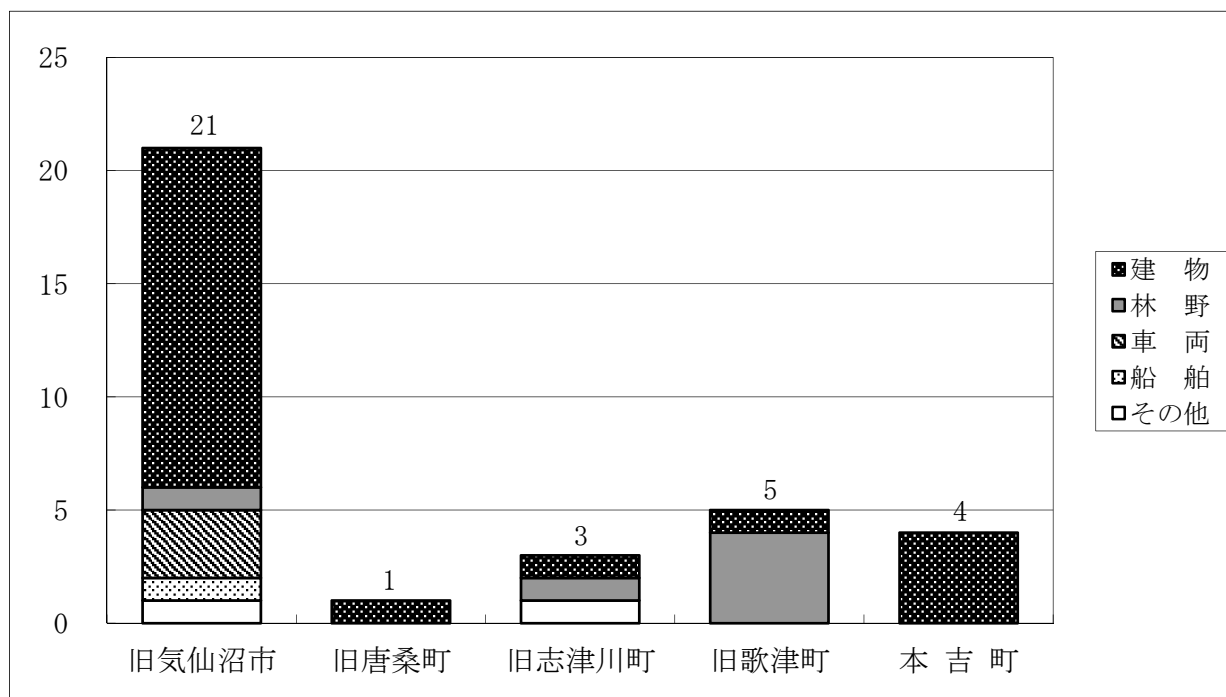


市 町 別 火 災 発 生 状 況

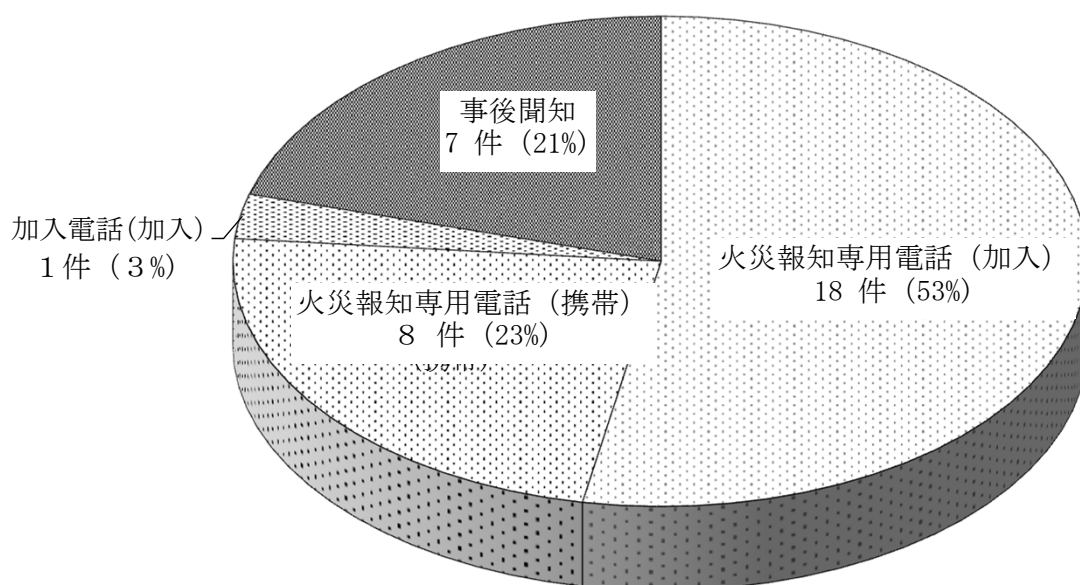
(平成18年)

区 分		市 町		気 仙 沼 市		南 三 陸 町		本 吉 町	総 計
				旧気仙沼市	旧唐桑町	旧志津川町	旧歌津町		
火 災 件 数	建 物			15	1	1	1	4	22
	林 野			1		1	4		6
	車 両			3					3
	船 舶			1					1
	そ の 他			1		1			2
	合 計			21	1	3	5	4	34
り 災 棟 数	全 焼			5		1		2	8
	半 焼			1					1
	部 分 焼			7	1		1	2	11
	ぼ や			4				1	5
	合 計			17	1	1	1	5	25
建物焼損面積 (㎡)				564	1	218		213	996
内類焼									
林野焼損面積 (a)						3	6		9
内類焼									
り 災 世 帯 数				9	1	1	1	4	16
り 災 人 員				27	3	2	5	11	48
損 害 額 (千円)	建 物			38,019	127	17,047	148	21,371	76,712
	内類焼								
	林 野					85	32		117
	内類焼								
	車 両			410					410
	内類焼								
	船 舶			8,000					8,000
	内類焼								
	そ の 他								
	内類焼								
	合 計			46,429	127	17,132	180	21,371	85,239
	内類焼								
死 者				1				1	2
負 傷 者				3				1	4
放 水 火 災 件 数				7		3	3	1	14

火災件数



覚知別火災発生状況

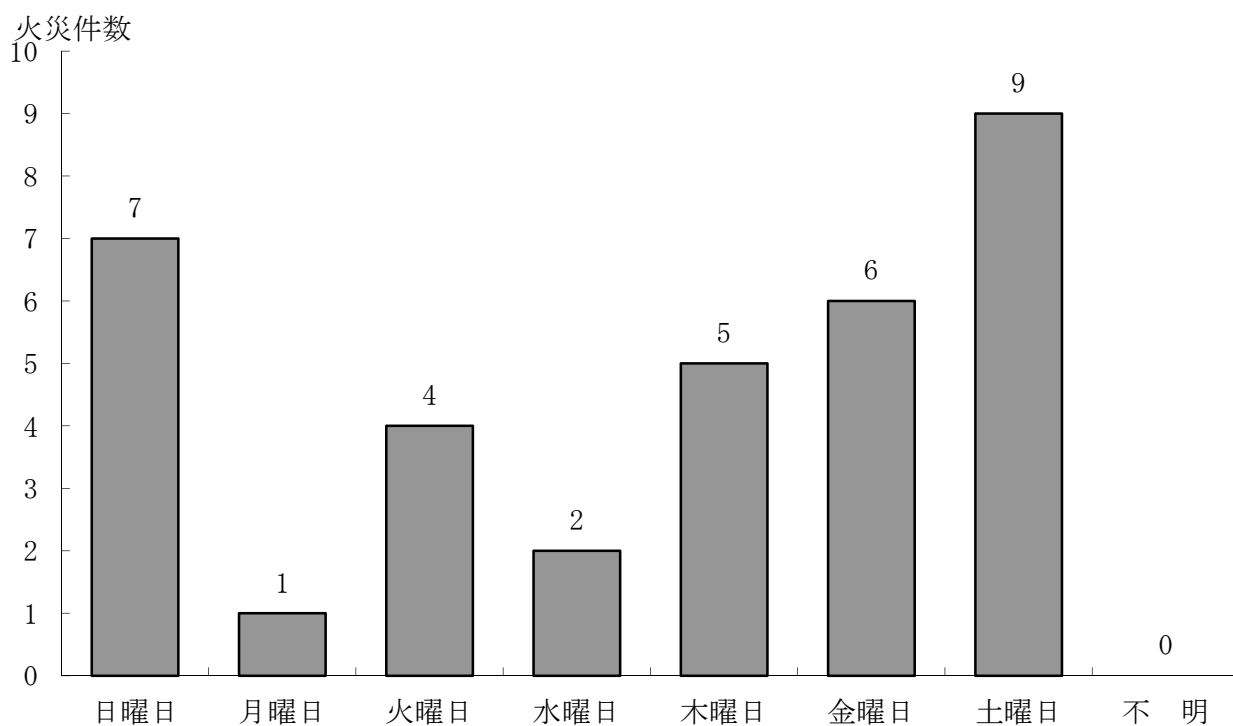


月別火災発生状況

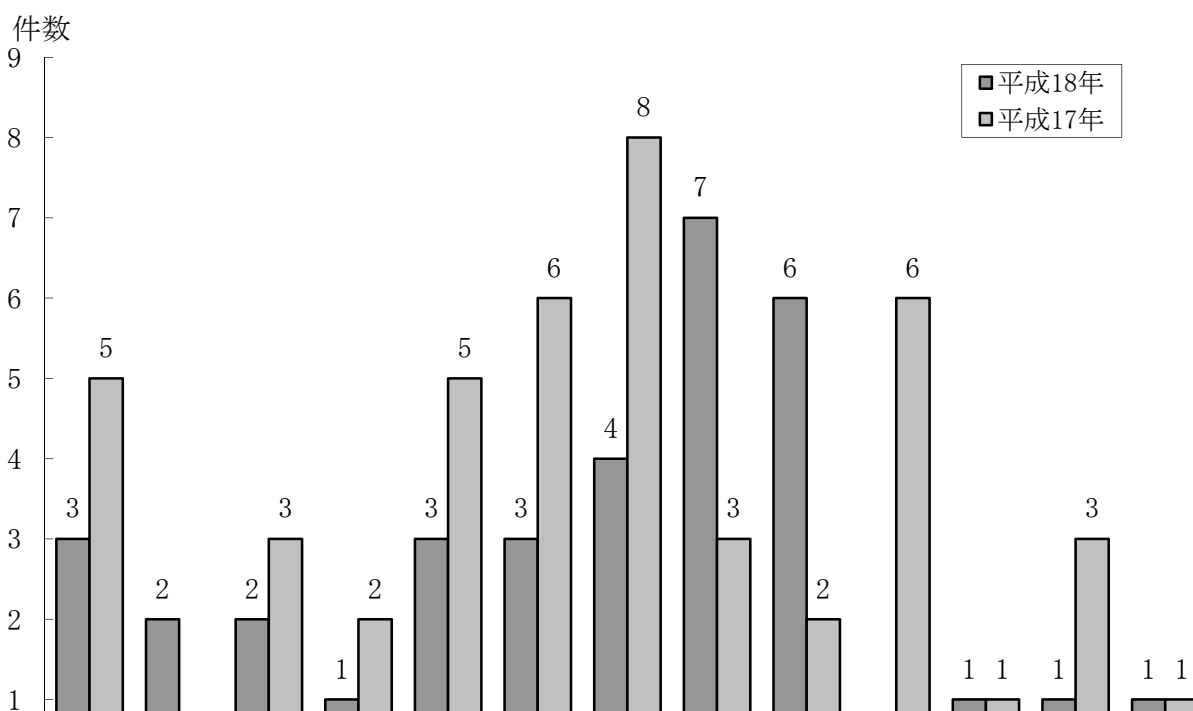
月 別 区 分			1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月					
火 災 件 数	建 物	全 焼	2	3	5	1	2	3	5	4	3	1	2					
		半 焼													1			
		部 分 焼	1											1	2	1		1
		ぼ や													2	1		
	林 野		1	1	1	1	2											
	車 両		1		1													
	船 舶																	
	そ の 他												1					
り 火 災 棟 数	棟 数	全 焼	3	4	1	3	3	3	1	1								
		半 焼									1							
		部 分 焼	1								2	1		1				
		ぼ や										2	1					
	世 帯 数	全 損	2	3	1	2	3			1								
		半 損									1							
		小 損	1								1	3		1				
	建物焼損面積（㎡）			563			61											
内類焼																		
林野焼損面積（a）			3			6												
内類焼																		
損 害 額 （千円）	建 物	建 物	24, 143		86		16, 722		116				66					
		内 容 物	6, 191		20		1, 672		57		82		3					
		内 類 焼																
		内 類 焼																
	林 野	林 野	85		32													
		内 類 焼																
	車 両	車 両	308				2											
		内 類 焼																
	船 舶	船 舶																
		内 類 焼																
	そ の 他	そ の 他																
		内 類 焼																
合 計			30, 727		138		18, 396		173		82		69					
内類焼																		
死 者													1					
負 傷 者											1							
放水火災件数			3		1		3		1									
放水ポンプ台数			23		1		13		3									
出動延べ人員(吏員)			70		24		107		37		28		20					
出動延べ人員(団員)			239		90		227		58		63		52					

7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			合 計		
						2						1						5		
	1			1			4						2					1	22	
1			1			1						1			1			11		
		1			2	1		6						2	1			5		34
																		6		
				1														3		
						1												1		
						1												2		
						4						1						8		
														2				1		
1		1		1	1	1		6				1			1			11		25
						1									1			5		
						1						1						4		
					1			2					1					1		16
				1		1									2			11		
				1		307						63			1			996		
																		9		
						22,588						609			3			64,333		
	23			15		3,935						377			4			12,379		
																		117		
				100														410		
						8,000												8,000		
	23			115		34,523						986			7			85,239		
						1												2		
	1			1		1												4		
						4						2						14		
						21						4						65		
				23		99						36			12			456		
				25		277						85			45			1,161		

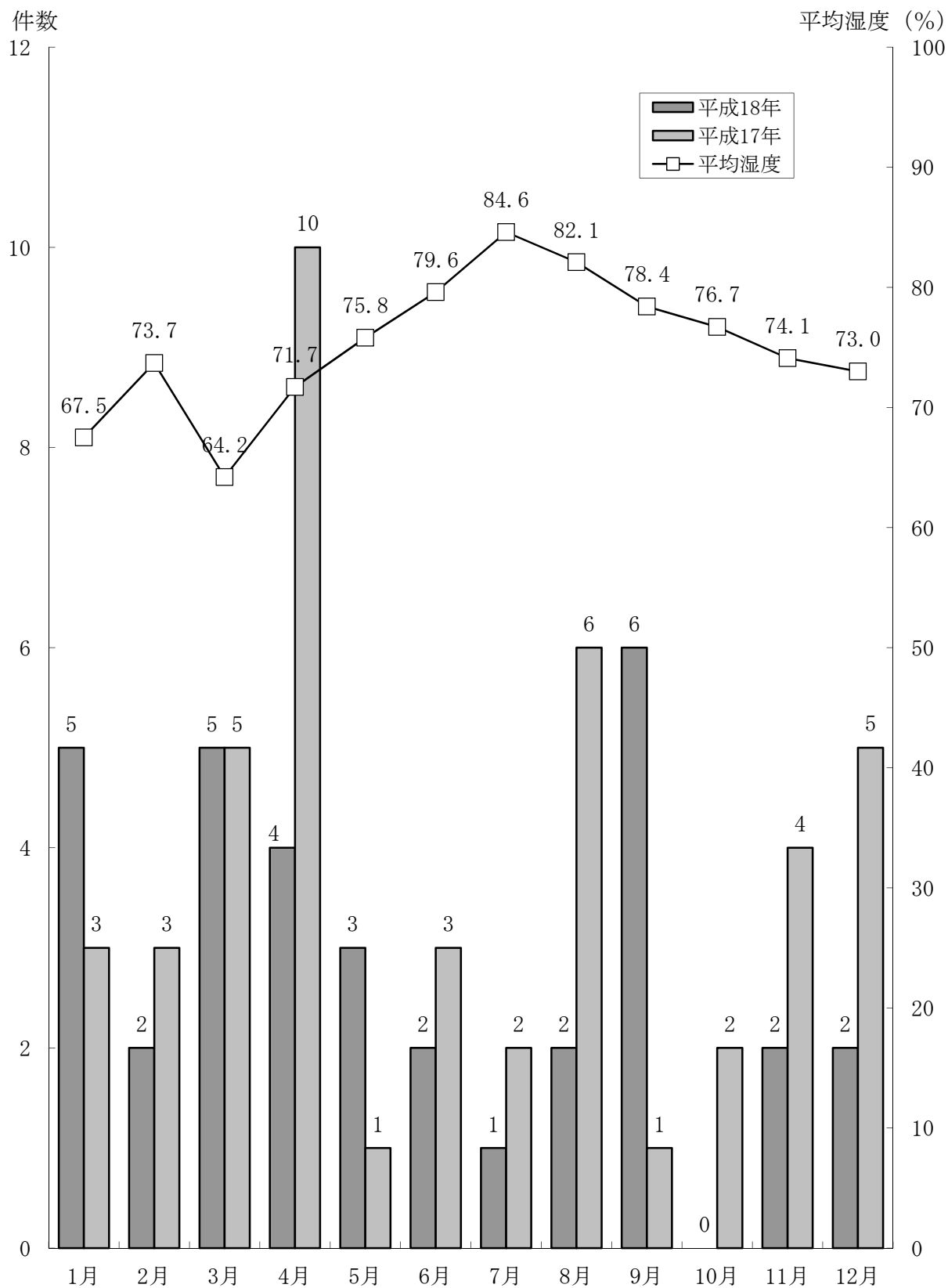
曜 日 別 火 災 発 生 状 況



時 間 別 火 災 発 生 状 況



月別火災発生状況



原因別火災発生状況・損害額

年 別 原因 件数・損害額		平成 18 年		平成 17 年	
		件数	損害額（千円）	件数	損害額（千円）
失火	たばこ（投げ捨て，放置）	6	18,236	4	2,109
	ガスコンロ（放置，油に引火）	4	524	4	6,018
	電気配線（絶縁不良，短絡）	2	21,065		
	交通機関（衝突・配線・排気管）	2	310	5	41,550
	風呂かまど（火源落下，構造不良）	2	148	1	689
	焼却炉・焼却機（飛び火，排気管）	2	23	3	11,783
	たき火・ゴミ焼き（飛び火，放置）	2	85	6	605
	こたつ（器具不良，伝導過熱）	1	21,043		
	マッチ・ライター（落下，使用不適）	1	17,047		
	電気器具（配線，機器）	1	3	1	9,748
	火遊び（マッチ，ライター）			1	0
	取灰（不始末）			1	0
	ストーブ（取扱不良，輻射）			3	10,920
	溶接機・溶断機			3	985
	灯火（火源落下，可燃物接触）			1	21,545
	その他	1	108		
放火・放火の疑い		8	6,471	9	6,338
調査中		2	176	3	25,032
合 計		34	85,239	45	137,322

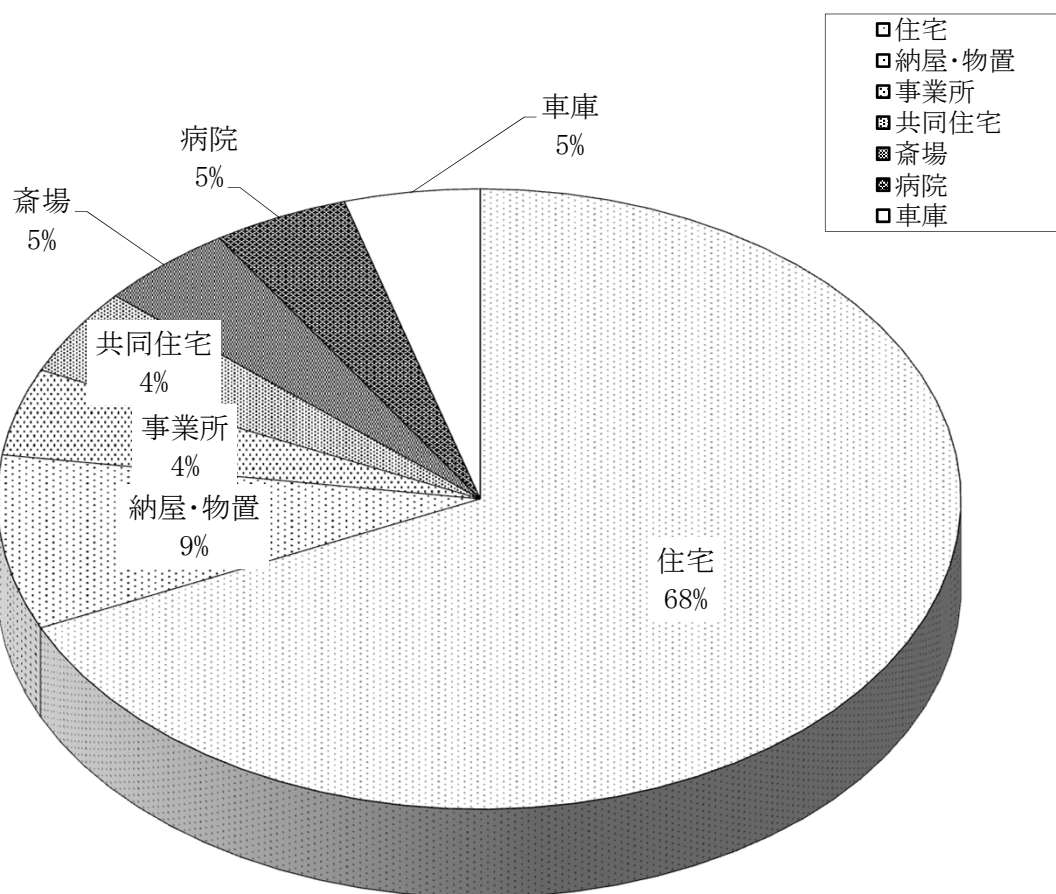
建物用途別火災発生状況（火元）

（平成18年）

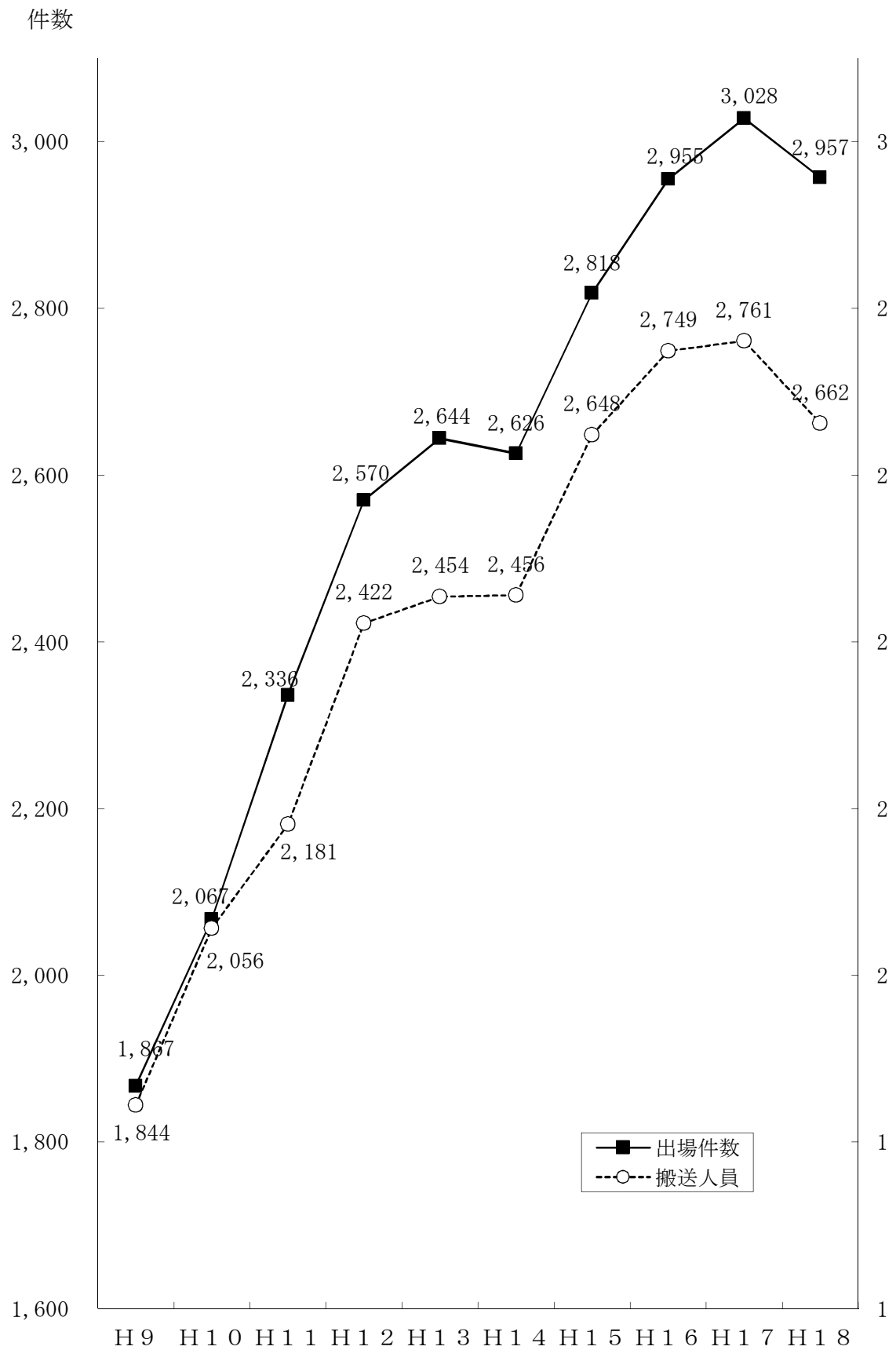
用途別 区 分	出 火 件 数					焼損面積 (㎡)	損 害 額 (千円)
	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や		
住 宅	15	4	1	5	5	879	70,752
納 屋 ・ 物 置	2			2		18	121
事 業 所	1	1				96	5,404
共 同 住 宅	1			1		3	222
斎 場	1			1		0	108
病 院	1				1	0	82
車 庫	1			1		0	23
合 計	22	5	1	10	6	996	76,712

※件数及び用途別については、火元用途による。

※類焼の損害額については、火元用途に含む。



救 急 活 動 の 推 移



月別出場件数・搬送人員

(平成18年)

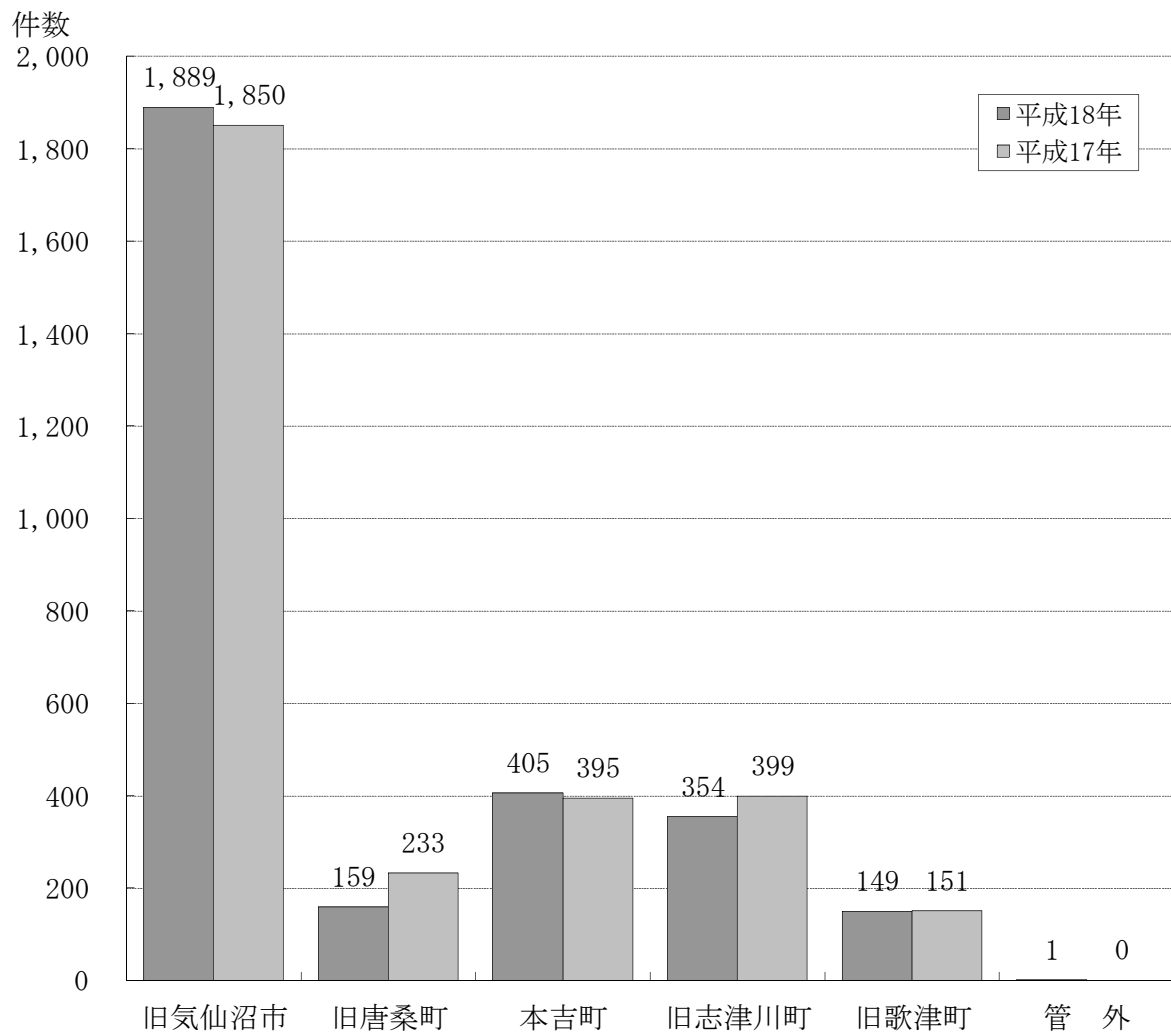
月	事故種別 区分	合 計	火	自然	水	交	労働	運動	一般	加	自	急	そ
			災	災害	難	通	災害	競技	負傷	害	損行為	病	その他
1	出場件数	289			1	22	2	1	35	1	3	202	22
	搬送人員	255			1	19	2	1	31	1	2	176	22
2	出場件数	264				23	6		30	1	2	176	26
	搬送人員	243				27	6		27	1	2	155	25
3	出場件数	230			2	14	6		17		5	166	20
	搬送人員	215			1	17	6		17		4	150	20
4	出場件数	223			2	10	1	4	22		3	155	26
	搬送人員	197			1	11	1	3	19		3	134	25
5	出場件数	226				15	2	3	36	1	2	147	20
	搬送人員	195				14	2	3	28	1	1	126	20
6	出場件数	218			1	19	1	4	21	1	4	147	20
	搬送人員	196			1	23	1	4	18		3	127	19
7	出場件数	249			2	19	2		40	2	2	154	28
	搬送人員	222				22	2		31	2	2	136	27
8	出場件数	290	2		2	25	1	2	52			182	24
	搬送人員	262	1		1	30	1	2	45			160	22
9	出場件数	224	1			27	4	2	23		3	141	23
	搬送人員	196	1			28	4	2	19		3	116	23
10	出場件数	214				20	4		26		4	141	19
	搬送人員	202				25	4		26		4	126	17
11	出場件数	237				23	2	2	18	1	4	158	29
	搬送人員	211				23	2	2	13	1	4	136	30
12	出場件数	293			1	16	3	3	40	2	3	190	35
	搬送人員	268			1	20	3	3	34	2	3	167	35
合 計	出場件数	2,957	3		11	233	34	21	360	9	35	1,959	292
	搬送人員	2,662	2		6	259	34	20	308	8	31	1,709	285

市 町 別 事 故 別 活 動 状 況

(平成18年)

事故種別 市町別				火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
気 仙 沼 市	旧 気 仙 沼 市	18年	出場件数	2		8	139	23	16	231	6	21	1,288	155	1,889
			搬送人員	1		3	145	23	15	185	6	18	1,069	152	1,617
		17年	出場件数	3		9	144	18	17	260	11	29	1,218	141	1,850
			搬送人員	2		5	158	17	16	212	8	25	1,028	139	1,610
	旧 唐 桑 町	18年	出場件数				10	2		18		4	99	26	159
			搬送人員				12	2		18		4	94	25	155
		17年	出場件数			2	15	2	1	25		5	155	28	233
			搬送人員			2	22	2	1	25		3	147	29	231
本 吉 町		18年	出場件数	1			46	5	3	66	3	5	233	43	405
			搬送人員	1			55	5	3	61	2	4	223	43	397
		17年	出場件数			4	30	1	5	44	2	2	276	31	395
			搬送人員			2	37	1	5	43	2	2	265	32	389
南 三 陸 町	旧 志 津 川 町	18年	出場件数			1	32	3		30		5	218	65	354
			搬送人員			1	37	3		30		5	205	63	344
		17年	出場件数			1	31	3	4	54		6	241	59	399
			搬送人員			1	36	3	4	51		4	224	59	382
	旧 歌 津 町	18年	出場件数			2	6	1	2	15			121	2	149
			搬送人員			2	10	1	2	14			118	2	149
		17年	出場件数				13	2	5	14			114	3	151
			搬送人員				13	2	6	14			111	3	149
管 外		18年	出場件数											1	1
			搬送人員												
		17年	出場件数												
			搬送人員												
合 計		18年	出場件数	3		11	233	34	21	360	9	35	1,959	292	2,957
			搬送人員	2		6	259	34	20	308	8	31	1,709	285	2,662
		17年	出場件数	3		16	233	26	32	397	13	42	2,004	262	3,028
			搬送人員	2		10	266	25	32	345	10	34	1,775	262	2,761

市 町 別 出 場 件 数



○ 管内市町別出場件数

出場件数 2, 9 5 7 件に占める各市町毎の割合

旧 気 仙 沼 市	1, 8 8 9 件	(63.9 %)
旧 唐 桑 町	1 5 9 件	(5.4 %)
本 吉 町	4 0 5 件	(13.7 %)
旧 志 津 川 町	3 5 4 件	(12.0 %)
旧 歌 津 町	1 4 9 件	(5.0 %)
管 外	1 件	(0.0 %)

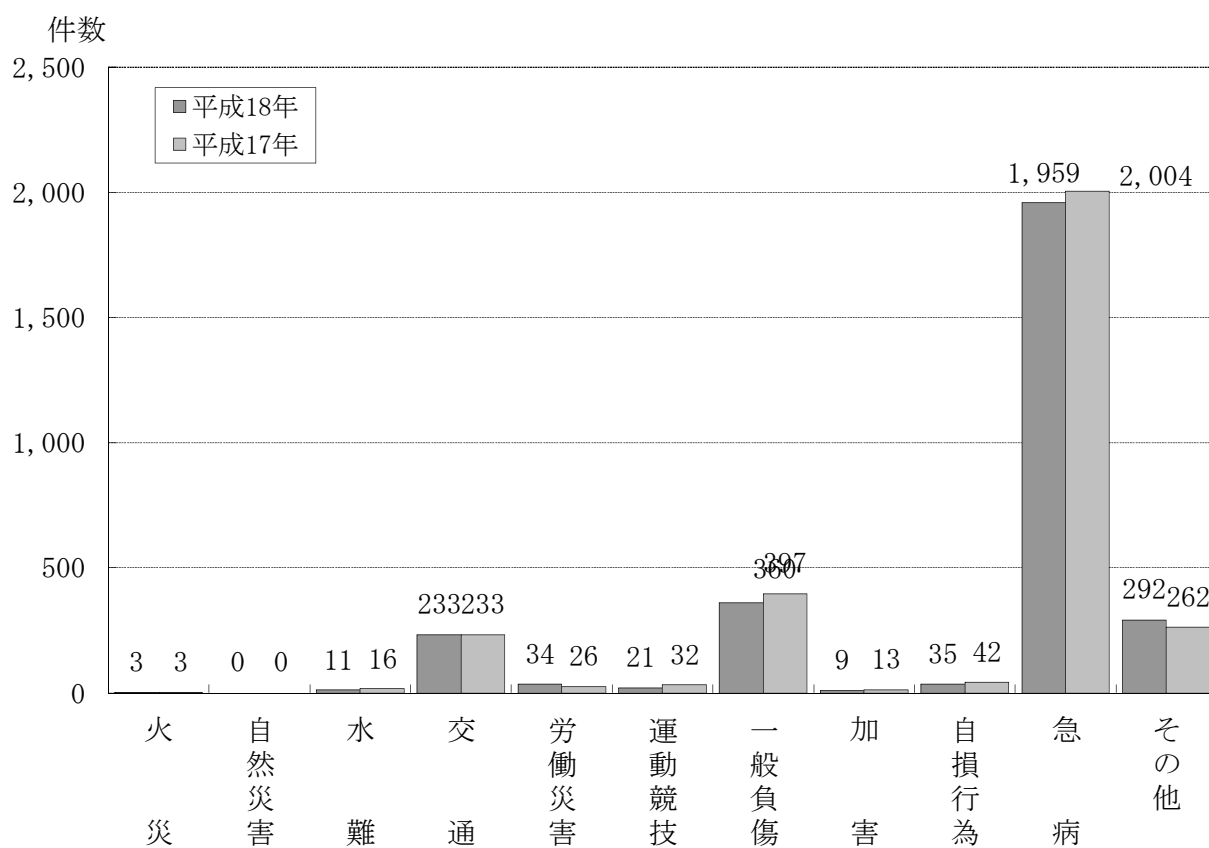
救急隊員が行った応急処置件数

(平成18年)

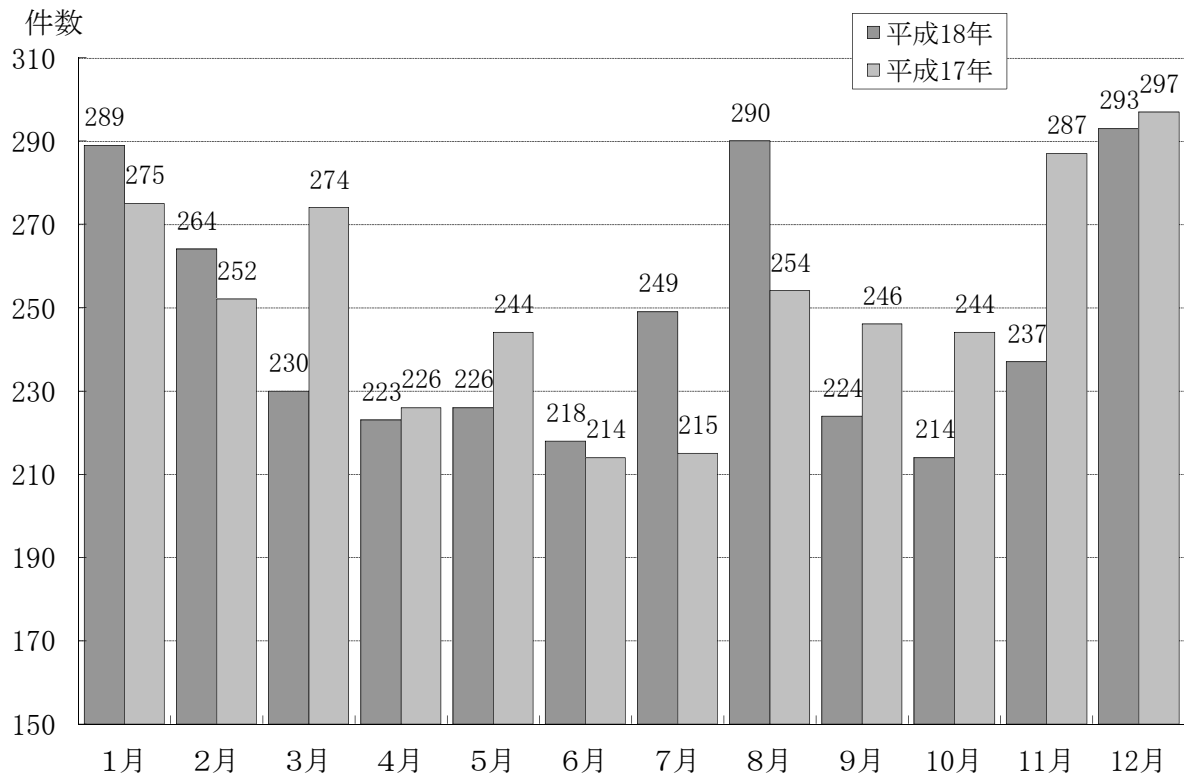
応急種別 事故種別	応対 急象 処人 置員	止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	気 道 確 保	保 温	被 覆	除 細 動	血 圧 測 定	聴 診 器	血 中 酸 素	心 電 図	そ の 他	合 計
急 病	1,705	25	14	17	105	626	186	323	6	13	1,555	351	1,596	772	327	5,916
交通事故	255	23	144			24	1	30	55		244	20	246	14	16	817
一般負傷	307	56	93	1	8	35	17	33	64	1	286	25	288	27	39	973
そ の 他	380	13	40	2	16	133	30	62	19	2	343	40	351	105	44	1,200
合 計	2,647	117	291	20	129	818	234	448	144	16	2,428	436	2,481	918	426	8,906

※ 応急処置は、症状により重複実施する場合がある。

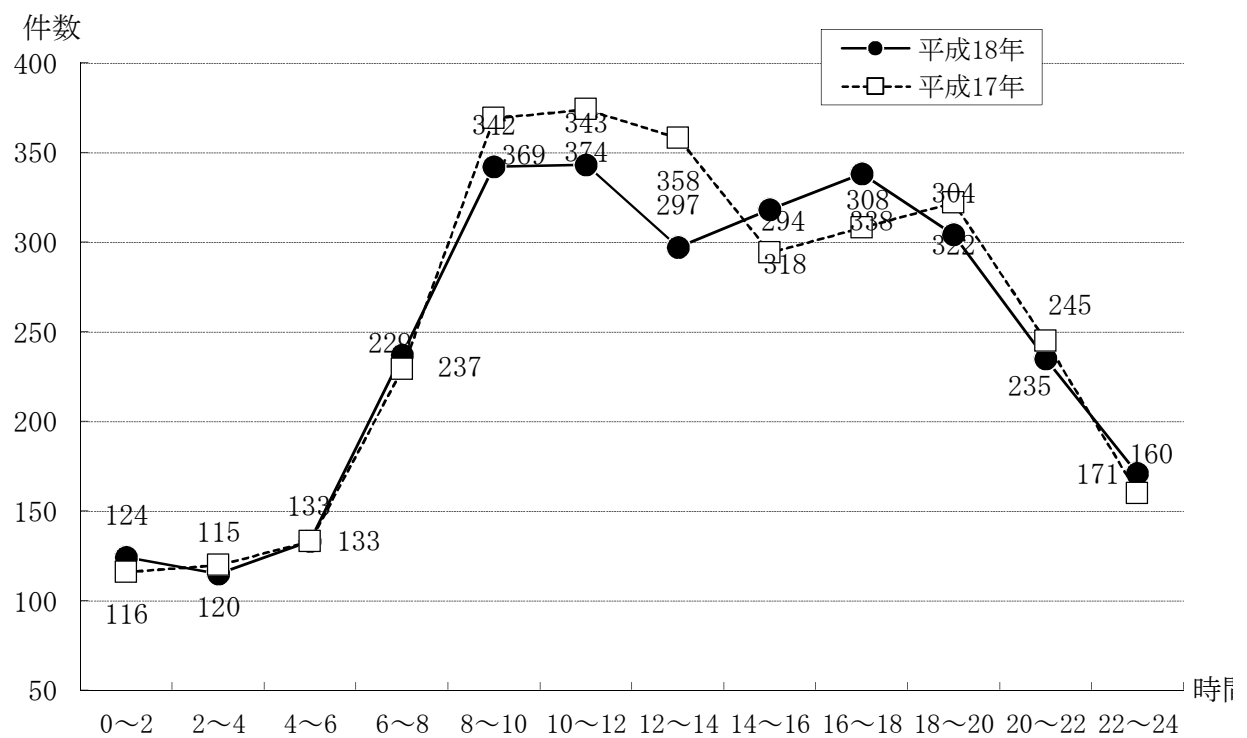
事 故 種 別 出 場 件 数



月別出場件数



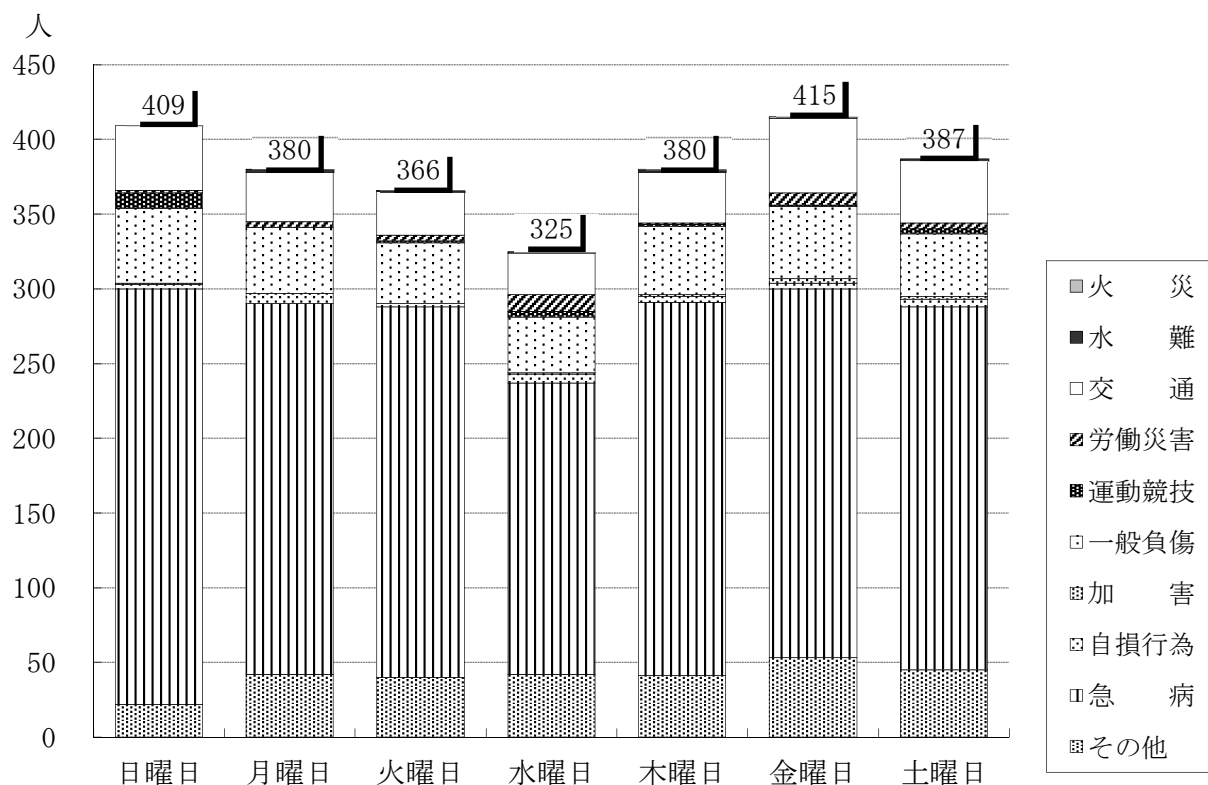
時間別出場件数



曜 日 別 搬 送 人 員

○ 曜日別搬送人員

曜日別搬送人員を比率で見ると、金曜日が一番多く15.6%、次いで日曜日15.4%、以下土曜日14.5%、月曜日14.3%、木曜日14.3%、火曜日13.7%、水曜日12.2%の順となっている。



曜 日 事故種別	計	日	月	火	水	木	金	土
火 災	2					1	1	
自 然 災 害								
水 難	6		2	1	1	1		1
交 通	259	43	33	29	28	34	50	42
労 働 災 害	34	2	4	4	11	1	8	4
運 動 競 技	20	10		1	4	1	1	3
一 般 負 傷	308	50	44	41	37	46	48	42
加 害	8	1			1	1	3	2
自 損 行 為	31	3	7	2	6	4	4	5
急 病	1,709	278	248	248	195	250	247	243
そ の 他	285	22	42	40	42	41	53	45
合 計	2,662	409	380	366	325	380	415	387

傷病程度別搬送人員

○ 傷病程度別搬送人員

傷病者の傷病程度を見ると、

救急搬送人員 2, 662 人のうち、中等症が一番多く 1, 212 人（45. 5%）

軽 症 898 人（33. 7%）

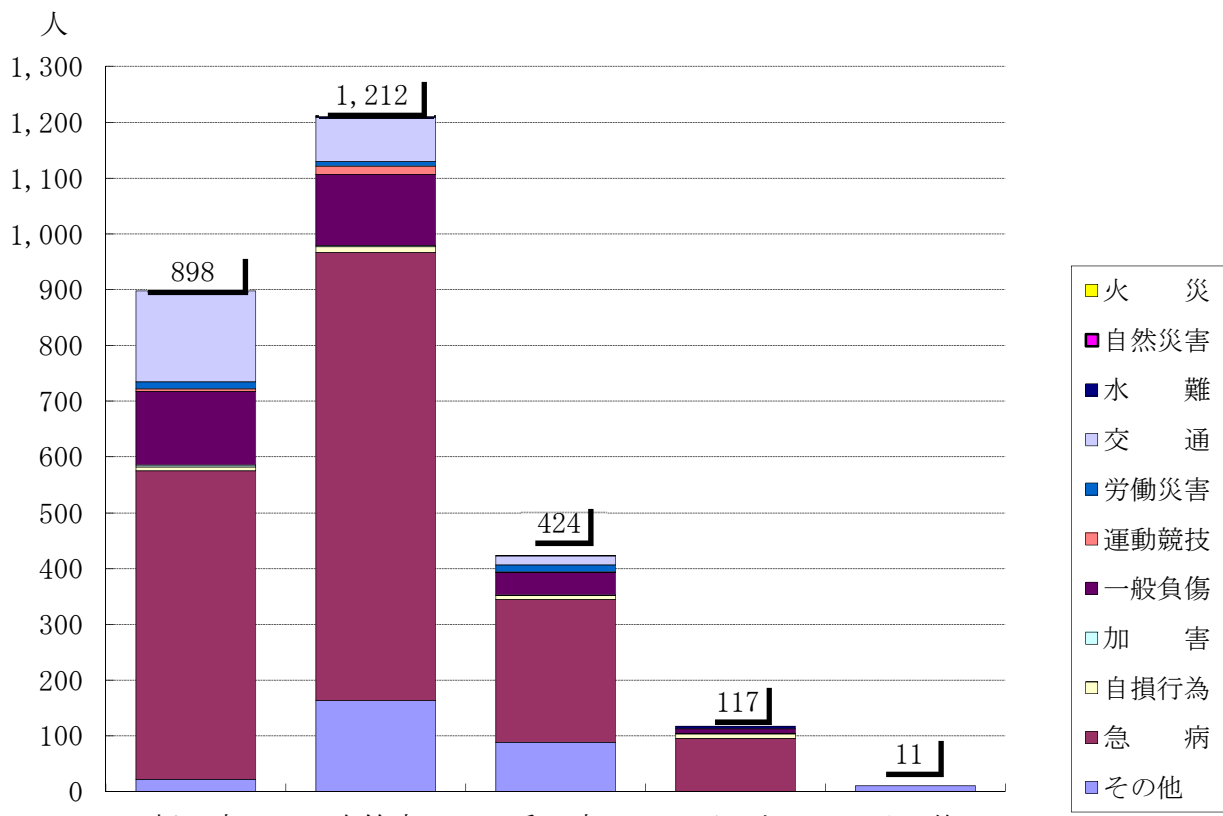
重 症 424 人（15. 9%）

死 亡 117 人（4. 4%）

その他 11 人（0. 4%）

の順になっている。

事故種別 傷病程度	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	計
軽 症				163	13	5	131	4	7	553	22	898
中 等 症	1		2	79	9	14	128	2	10	804	163	1, 212
重 症	1			17	12	1	41	1	6	256	89	424
死 亡			4				8	1	8	96		117
そ の 他											11	11
合 計	2		6	259	34	20	308	8	31	1, 709	285	2, 662



年 齢 別 搬 送 人 員

○ 年齢別搬送人員

搬送人員 2, 6 6 2 人のうち、

新生児(生後28日以内) 9 人(0.3%)

乳幼児(生後29日～7歳未満) 90 人(3.4%)

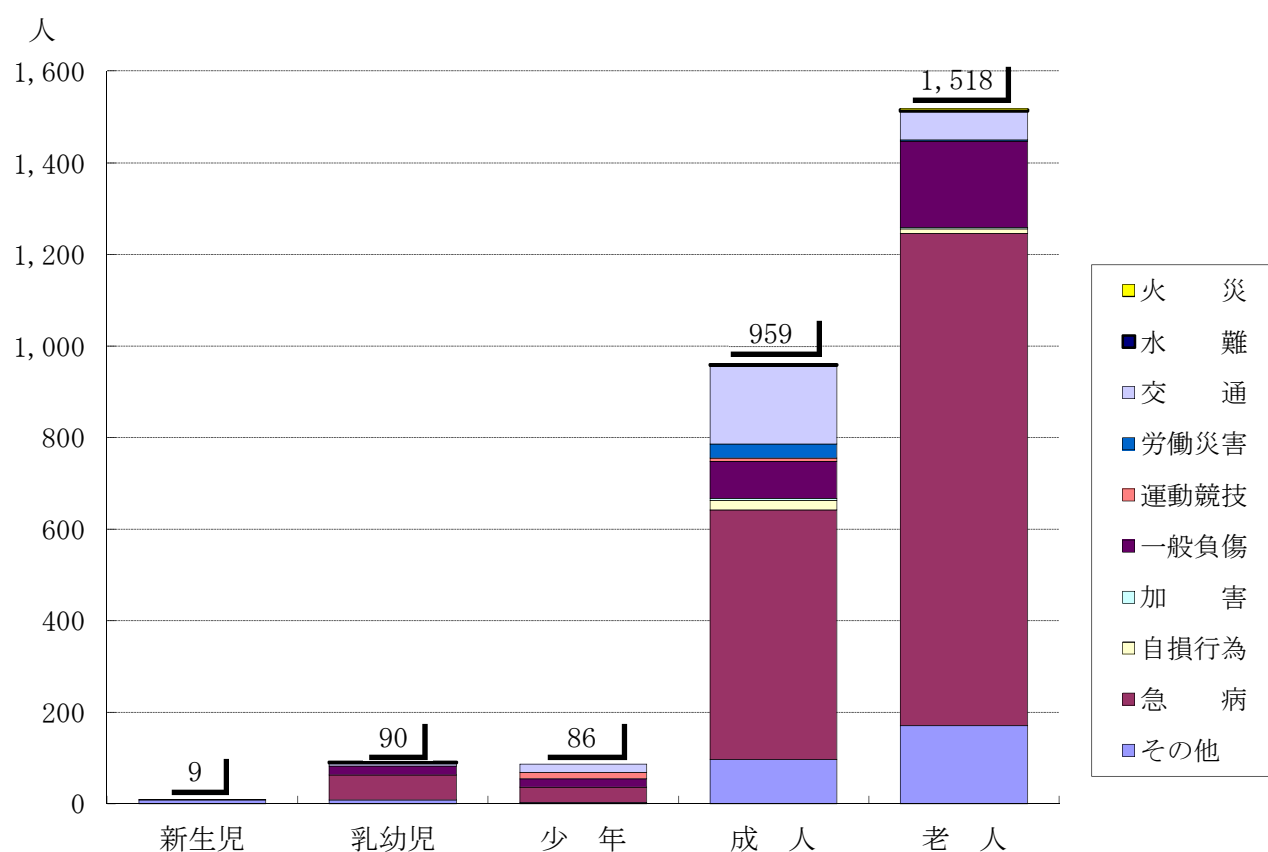
少年(7歳～18歳未満) 86 人(3.2%)

成人(18歳～65歳未満) 959 人(36.0%)

老人(65歳以上) 1, 518 人(57.0%)

をそれぞれ搬送した。

事故種別 年 齢 別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
合 計	2		6	259	34	20	308	8	31	1, 709	285	2, 662
新 生 児 (生 後 28 日 以 内)										1	8	9
乳 幼 児 (生 後 29 日 ～ 7 歳 未 満)			1	7			19			55	8	90
少 年 (7 歳 ～ 18 歳 未 満)				18		13	19			33	3	86
成 人 (18 歳 ～ 65 歳 未 満)			2	171	31	7	81	5	21	545	96	959
老 人 (65 歳 以 上)	2		3	63	3		189	3	10	1, 075	170	1, 518



医療機関別搬送人員

(平成18年)

告示別	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		計	
	開設者別		うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外		
救急告示医療機関	国立		1	1					9	9	10	10
	公立		1,494	17	193	6	265	2	300	19	2,252	44
	公的		16	16	2	2	3	3	25	25	46	46
	私 的	病院	25	8	55	1	28		17	11	125	20
		診療所										
計			1,536	42	250	9	296	5	351	64	2,433	120
その他の医療機関	国立											
	公立		48	1			7	1	8	6	63	8
	公的											
	私 的	病院	80	2			3		13	1	96	3
		診療所	45	2	9		2		3	1	59	3
計			173	5	9		12	1	24	8	218	14
計	国立		1	1					9	9	10	10
	公立		1,542	18	193	6	272	3	308	25	2,315	52
	公的		16	16	2	2	3	3	25	25	46	46
	私 的	病院	105	10	55	1	31		30	12	221	23
		診療所	45	2	9		2		3	1	59	3
計			1,709	47	259	9	308	6	375	72	2,651	134
その他の場所	接骨院他											
	その他								11		11	
	計								11		11	
合計			1,709	47	259	9	308	6	386	72	2,662	134

不搬送等状況

不搬送理由	件数
合計	335
緊急性なし	8
傷病者なし	9
拒否	31
酩酊	10
死亡	45
現場処置	
誤報・いたずら	4
その他	228

診療科目別搬送人員

診療科目別	搬送人員
合計	2,662
内科	1,177
外科	256
整形外科	405
脳内・外科	389
産婦人科	29
小児科	69
眼科	5
耳鼻咽喉科	18
精神神経科	23
皮膚泌尿器科	47
循環器科	213
その他の科	20
その他の場所	11

転送回数別搬送人員

転送回数	搬送人員
合計	2,662
0回	2,631
1回	31
2回以上	

普通救命講習受講者状況

内 年	婦人 防火 クラブ	危険 火物 管理 安全 協会	消 防 団	高 校 生	左 記 以 外	合 計
平成18年	16	80	49	216	1,143	1,504
平成17年	202	21	105	581	1,255	2,164
平成16年	78	43	59	545	1,070	1,795
平成15年	33	32	92	285	564	1,006

覚知別出場件数

覚知別	出場件数
合計	2,957
119番	2,514
警察電話	37
加入電話	334
駆け込み	52
その他	20

- 救急出場件数2,957件中、転院搬送は283件(9.6%)であった。
- 医療機関への搬送人員2,662人中、2,450件(92.0%)は消防機関が病院選定を行った。

防災センター



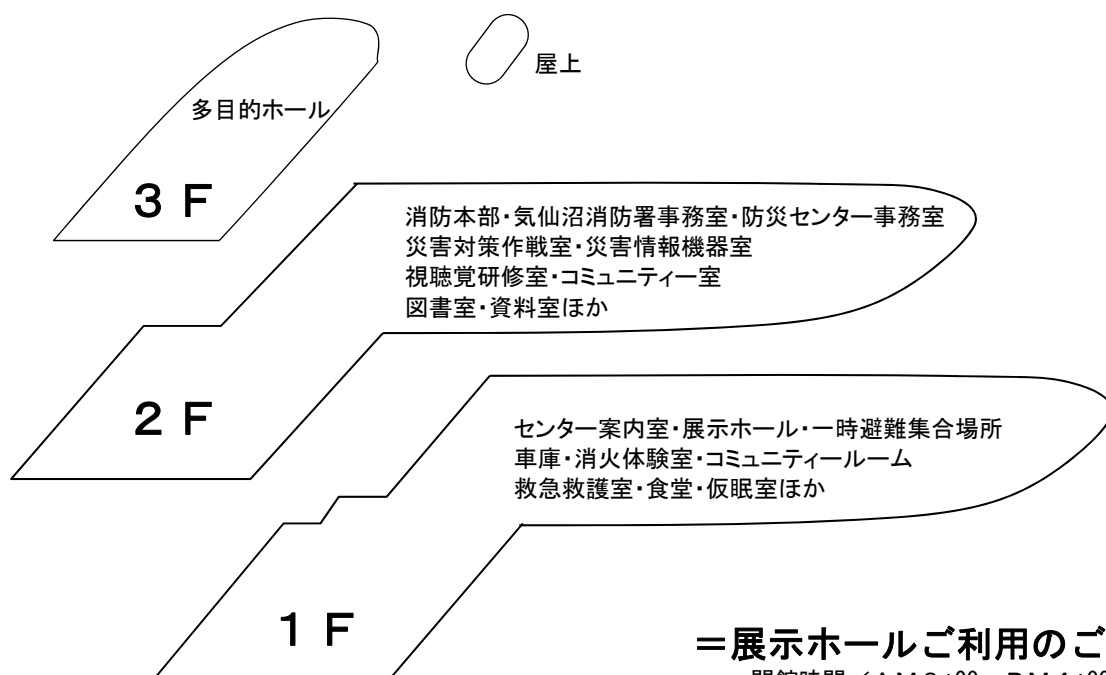
防災センター「地震体験コーナー」

防災センターの概要

「気仙沼・本吉広域防災センター」は、消防本部・消防署との合築の施設で国土庁と宮城県の補助を受け、平成6年4月1日にオープンしました。

平常時は、地震・煙・消火等の体験学習や各種展示を通じて防災行動力・防災知識等の向上を図ります。

また、災害時には、災害対策活動の拠点として1市2町や関係機関等への情報提供や連絡調整等を行う一方、一次避難場所等としても利用されます。

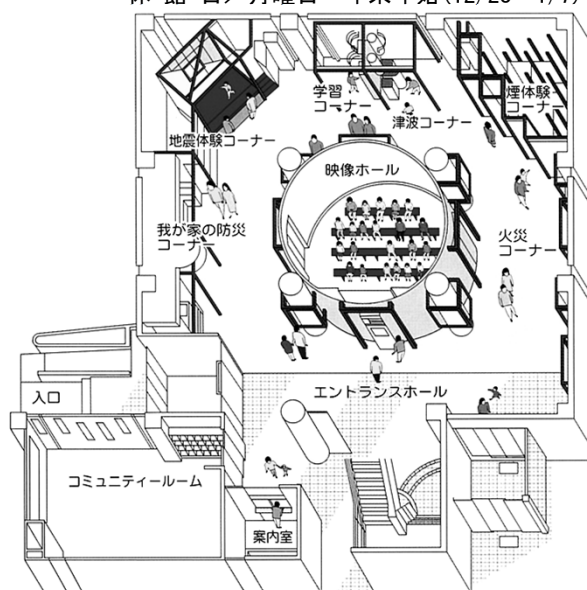


その他、敷地内には、災害時に備えたヘリポートや備蓄倉庫、訓練塔があります。

＝展示ホールご利用のご案内＝

開館時間／AM 9:00～PM 4:00

休館日／月曜日・年末年始(12/28～1/7)



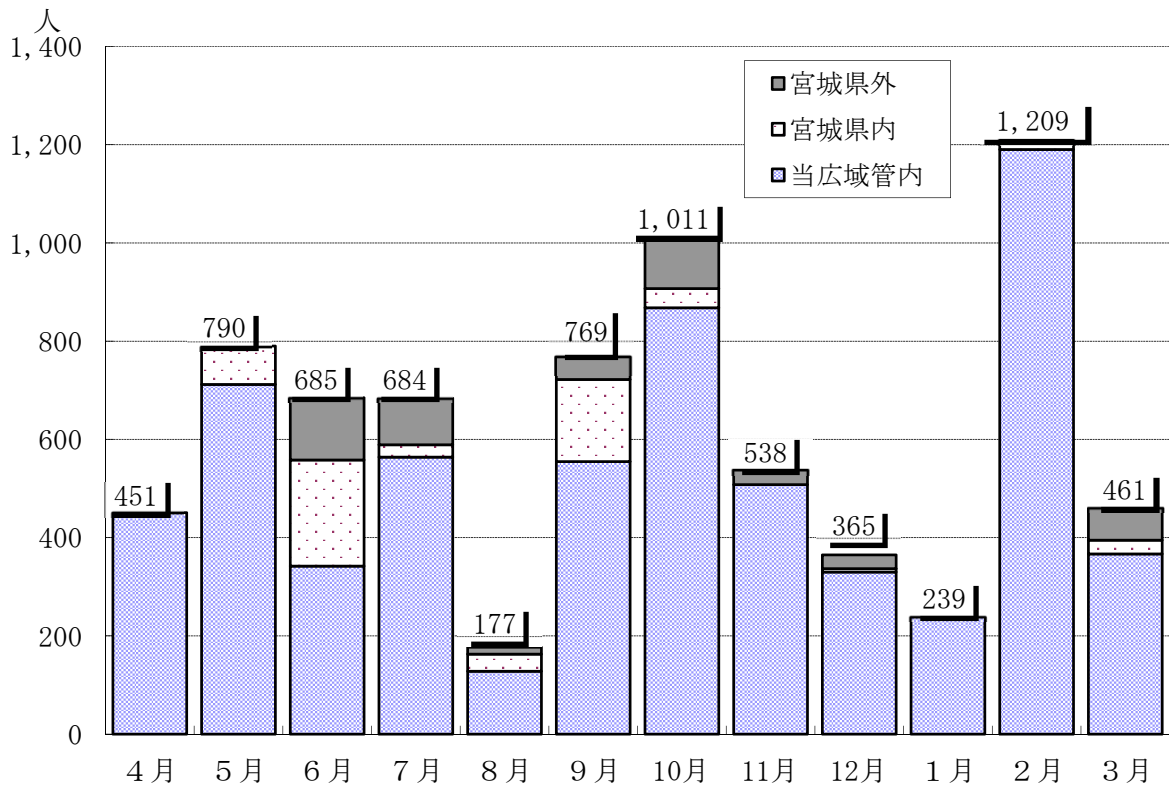
■センター概要

●敷地面積／5,225.02㎡ 延べ床面積／2,981.4㎡
(他に、備蓄倉庫／299.95㎡、訓練塔／299.75㎡)

月・地域別利用状況

(平成18年度)(単位：人)

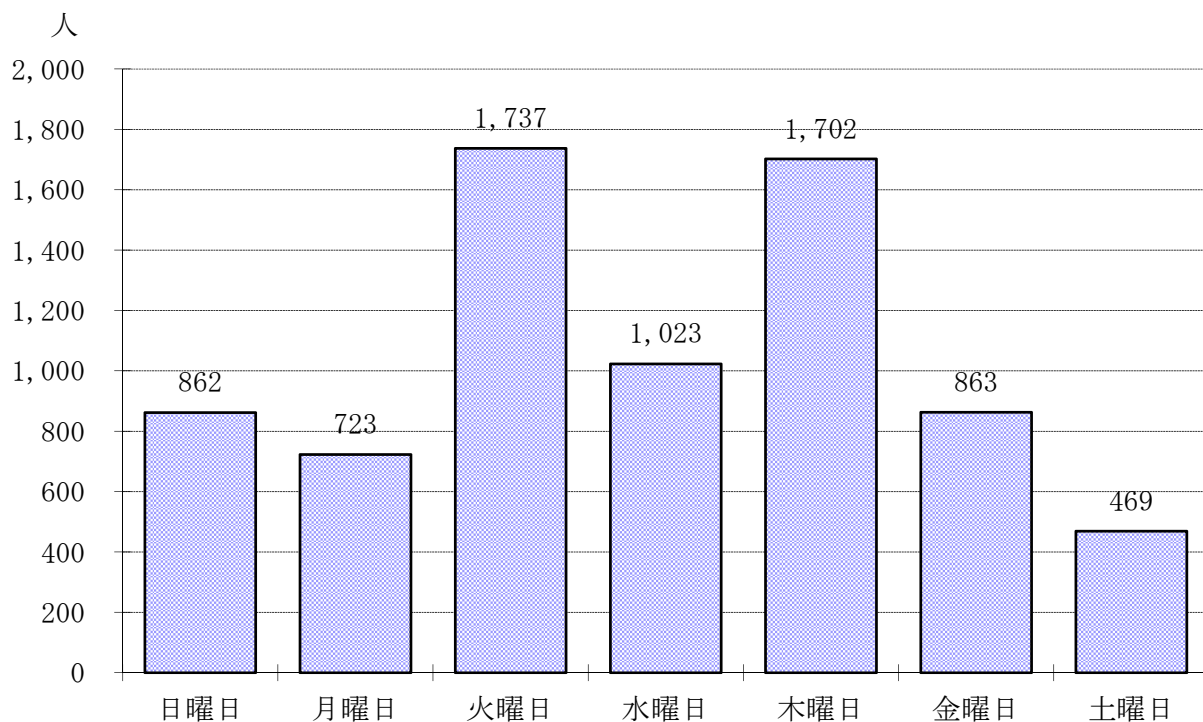
	当 広 域 管 内	宮 城 県 内	宮 城 県 外	合 計
4 月	451	0	0	451
5 月	712	78	0	790
6 月	342	216	127	685
7 月	564	25	95	684
8 月	128	35	14	177
9 月	555	167	47	769
10 月	868	39	104	1,011
11 月	508	0	30	538
12 月	330	7	28	365
1 月	239	0	0	239
2 月	1,190	15	4	1,209
3 月	367	28	66	461
合 計	6,254	610	515	7,379
16年度計	6,525	781	565	7,871
前年度比較	△ 271	△ 171	△ 50	△ 492
開館以来累計	107,234	9,091	12,029	128,354



月・曜日別利用状況

(平成18年度) (単位：人)

	日	月	火	水	木	金	土	合 計
4 月	0	80	80	73	138	80	0	451
5 月	120	88	98	206	109	140	29	790
6 月	112	17	67	30	238	79	142	685
7 月	35	39	239	74	113	139	45	684
8 月	34	5	0	69	17	17	35	177
9 月	97	0	41	190	319	87	35	769
10 月	110	64	327	179	221	67	43	1,011
11 月	85	151	70	56	120	0	56	538
12 月	25	20	118	20	78	55	49	365
1 月	0	23	86	25	66	4	35	239
2 月	58	236	431	94	251	139	0	1,209
3 月	186	0	180	7	32	56	0	461
合 計	862	723	1,737	1,023	1,702	863	469	7,379
15年度計	689	660	1,421	1,437	1,168	1,904	592	7,871
前年度比較	173	63	316	△ 414	534	△ 1,041	△ 123	△ 492
開館以来累計	18,219	11,642	19,856	22,559	23,727	23,214	9,137	128,354



利 用 者 別 状 況

(平成18年度)

団 体 名 等	団 体 数	人 数
幼 年 消 防 ク ラ ブ	4	124
少 年 消 防 ク ラ ブ	4	134
婦 人 防 火 ク ラ ブ	6	166
危険物安全協会・防火管理者協会	9	438
消 防 団	7	399
行 政 機 関	83	2,338
自 治 会 ・ 上 記 以 外 の 団 体	104	3,148
救 急 救 命 指 導 講 習	33	592
上 記 以 外	11	40
合 計	261	7,379

主 な 備 蓄 品

(平成19年3月31日現在)

品 名	数 量	備 考
毛 布	230枚	
布 団	25組	
ポ リ 容 器	100組	
非 常 食	10,692食	乾燥餅 (6,660) 、乾パン (4,032)
応 急 処 置 セ ッ ト	6セット	
担 架	7台	
防 災 ト イ レ	1基	
シ ー ト	45枚	大 (10m×10m) 15、中30
タ オ ル	200枚	
軍 手	6ダース	
メ ガ ホ ン	5個	サイレン付き
防 災 リ ヤ カ ー	4台	ワンタッチ(2)、折りたたみ(1) 救護車担架付(1)
災 害 ツ ー ル	1式	

※備蓄品については、年次計画により購入。

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

〒988-0104 宮城県気仙沼市赤岩五駄鱈43番地2

TEL 0226-22-6688

FAX 0226-22-0119

E-Mail: kmf-so@k-macs.ne.jp

